京城日報

二十四日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

本紙定價 △一部金二錢五厘△一ヶ月金五十五錢△郵稅一ヶ月金拾五錢△前金△三ヶ月分金二圓△郵券代用は二割增

廣告料金 △五號十五字詰一行金八拾錢△二號七字詰一行壹圓△三號十字詰一行壹圓四十錢△六號廿字詰八拾錢

發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川三之助

發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社 電話番號 編輯用 三四五番 一二一四番 營業用 三二六番 六六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

總督告辭

二十四日擧行したる私立東洋協會植民專門學校京城分校卒業式に於て高橋武官の代讀せる長谷川總督の告辭左の如し

玆に私立東洋協會植民專門學校京城分校卒業式に當り一言以て諸子に告ぐる所あらむとす

諸子は研鑽の功を積み今や本校所定の課程を卒り各其の志す所に向はむとす寔に賀すべきなり

惟ふに朝鮮に於ける諸般の事業は概ね其の緒に就き計畫略就れりと雖改善を要し充實を圖るべきもの頗る多し諸子宜しく本校教養の旨趣を體し世界の大勢を察し謙讓己を持し忠實務に服し屈せず撓まず以て良好の成績を擧げ朝鮮開發に資する所あらむことを期すべし

第四十回帝國議會(東京特電)

衆議院(廿三日)

▲本會議 (輻輳延著)

廿三日午後一時半開會田中善立氏(憲政)の議事進行に關する質問に次で

▼陣軍吉氏(政友)より朝鮮警察機關組織に關する質問に入り憲兵警察の實情に就きて論じ警察官の不正行爲を列擧し政府は朝鮮に於ける警務機關の組織を改良するの意なきやと問ひ其演說終るや

▼大岡議長 板東勘五郎君は職務に勵精し加之議員委員長の職務を執らんとする際病氣に罹り唯今危篤の儀議院を退出せらるゝに就き特に十分間休憩して同君の退出を送り度しと諮り滿場水を打てる如く直に休憩に決す、時當に二時(此間故人となりし阪東勘五郎氏の遺骸を別電の如く衆議院大玄關に送る)

午後二時十八分再開、土肥權太氏(國民)より同盟罷工と職工保護に關する質問あり日程に入り

大正三年度歳入歳出總決算及び各特別會計歳入歳出決算

大正四年度歳入歳出總決算及び各特別會計歳入歳出決算

右に對し決算委員長

▼富島暢夫氏(新政)委員會の經過を報告し大正三年度總決算中不法のもの五件、同上中不當のもの四十四件、同特別會計決算中不法のもの一件、同上中不當のもの二十三件、大正四年度總決算中不當のもの四十件、同上特別會計決算中不當のもの十四件ある事を認め遂ひに左の決議を爲せりとて、既電の決議案を朗讀し『是を要するに前內閣に失政多かりしを遺憾とす』と述べ、憲兵會△△△△此の妨害の中を容赦なく、憲政會側に當り散らして降壇

▼關和知氏(憲政)是れと反對意見を述ぶ可く登壇、予は委員長の報告殊に決議案に反對す『第一、決議案成立の成行に就て 第二は其指摘せる事實に就て反對せざるを得ず』而して今回の決算委員會は憲法上特に與へられたる審査を爲すために非ず黨派感情を以て或目的を達する爲めにせられたる如き經過の跡を指摘し得可く決議案の如き私心を挾みて爲されたるものなり又決議案の內容に就きて見るに泰平組合との契約も影島丸、惠山丸の傭船契約も西園寺侯、山本伯、桂公等の前內閣時代に締結せるものを、大隈內閣に於て繼承せるものなりと述ぶるや

▼三土忠造氏(政友)本員等は泰平組合を介して兵器を賣却せるを責むるものに非ず、賣却方法の會計法規に違反せるを責むるなり、又製鐵所保管船三隻を松昌洋行に貸附するに就ては契約進行の時期に於て傭船料を改訂し若しくは契約を破棄し得可かりしにも不拘不當なる契約を締結したるは會計法第九條に違反するものに非ずや

次で紫安新九郎氏(憲政)の決議案反對演說大口嘉六氏(國民)の贊成演說あり、政國兩黨の彌次連罵詈交換裡に討論を終結し採決せるに大多數にて決議案は可決され次で委員長報告異議無く可決決定

日支文化の施設に關する建議案

提案者關和知氏(憲政)の說明あり委員附託

七井烏山間輕便鐵道茂木町經由に關する建議案

渡邊陳平氏(政友)の提案理由說明あり委員附託の上同六時散會

●和蘭と聯合國 中立維持難

▲船舶提供問題 英米兩國と和蘭との間に食料品を供給する代償として和蘭船舶の使用を委ねる交涉中なりしも今や行惱みの態なる由海牙電報にも見ゆる所なるが右に關しては少しく仔細あり元來和蘭は戰亂の眞ッ唯中に介在して其の窮乏に苦惱すること既に四年に垂んとし其經濟狀態の如きは交戰國たるより以上の苦惱を極め政府の施設は殆んど片ッ端より失敗に終りつゝあるも此點却て政府の轉覆を支へつゝあるの奇觀を呈し居れる程にて刻下の危局は何人が之を料理せんとするも其の事容易ならず此際米國より小麥十萬噸を輸入する事を得ば恐らくは和蘭の爲めには旱天慈雨の思ひなき能はざる可きも左りとて和蘭は如何に窮したりとて獨逸の意思に反して迄聯合國側の爲め有利なる船舶提供を應諾するに就いては和蘭の考慮を要するは勿論にして殊に獨逸が三月三日の講和條約によりて露西亞方面に豐富なる物資供給者を得たる以上は和蘭が從來獨逸の西面に立ちて其物資供給者(尠くとも米國よりの物資供給仲介者)たりし動かし難き地位は全く失墜したるに等しきを以て獨逸に言はしむれば和蘭なる中立國は最早其用無きなり即ち和蘭に對して獨逸は最强硬なる態度を取り得る强味を增大し和蘭はそれ丈け前日の强味を減殺せられ居れり故に和蘭が若し强いて獨逸の意に反せんか一週間ならずして其國土の大半を第二の白耳義たらしめざる可らず是れ和蘭が英米との交涉を聞きつゝも尙其最後の應諾を與ふるに躊躇する所以なり

▲和蘭の警戒 然らば此際英米が和蘭に對して强硬なる態度に出でつゝあるは和蘭を親獨論者として然るやと云ふに必ずしも然るには非ず和蘭が英米の要求に應ぜざるは其親獨政策より來るに非ずして全く地理的關係上獨逸の壓迫に對抗するの甚だ不利なるを知ればなり假令獨逸は露西亞方面よりの物資に依て蘇生の色を呈し新に充實せる精力を以て本夏西部戰場に大攻勢に出でんと其の機會を窺ひつゝありて其の攻勢の餘沫を以て和蘭を占領し去る事は最も有利なるを以て愈々其の決心を爲す事となるやも計り難く或ひは既に斯の如き形勢が見え始めたるが爲めに英米兩國は細心なる和蘭に對して昨今稍や放膽に出で來れるものなるやも知る可からずそれも和蘭が聯合國側に立ちて獨逸と戰ふ丈けの實力あらば和蘭を强制する事は却つて聯合國に取りて考へ物なるべけれども和蘭に其實力なきは明白にして和蘭が愈々起たば獨逸の前に屈服せざる可からざるは火を睹るよりも明かなれば聯合國は何の道和蘭の中立狀態を尊重する時期の既に經過したるを確認し寧ろ和蘭の實力は暫く問題外とし之を聯合國の一員として其船舶使用を强要せるには非ざるなきか蓋し米國未だ參戰せず露國獨逸の敵たりし間は和蘭は獨逸の友誼的に利用すべき時代なれども和蘭は獨逸の無慈悲なる利用物となるべき時代なり先刻ヘルトリング伯が久しく語らざりし白耳義問題に關し愈々撤退の意有るを明言せる時に於て獨逸は早くも白耳義に代るに和蘭を意中に描き初めたるものとも見られざるには非ず。それがあらぬか和蘭人にして近來蘭領東印度方面に渡航するもの漸く其數を增加し現に又和蘭政府は東印度官吏の賜暇歸國中なりし者をして最近に至りて急遽東印度に發向せしめたる事實あり其一部は現に米國を經て日本の港灣に寄港しつゝあり其邊の事情を察して米英の對蘭船腹交涉問題を觀測する時は思ひ半に過ぐるものあるべしと云へり(東京)

●先づ人を作れ! ―戰後に處する對應策―

九州帝大總長 眞野工學博士談

旅順工科學堂學事視察の爲め渡支の途にある九州帝國大學總長眞野工學博士は二十二日夜入京翌二十三日水原模範場を視察し同夜九時南大門驛通過北行せるが氏は往訪の記者に語つて曰く

自分は今から十年計り以前朝鮮に來た事がある此度は二回目であるが十年以前とは何處を見ても殆んど隔世の感がある市街道路、教育等の點に就いては勿論、汽車沿道の山々迄昔に比較すると遙かに翠綠の度を增して居る之れは總督府の施設方針として盛んに植林を奬勵した結果であらう今日は水原の模範場、學校、養蠶狀況其他を視察したが朝鮮に於ける蠶業が年と共に

▲隆盛の域に 進みつゝあるは誠に慶賀に堪へぬ次第で妙齡の婦人迄が盛んに蠶業機業に從事して居るは見るから心地が良い又學校の卒業式にも參列したが朝鮮人の子弟が邦語を以つて立派に答辭を述べたのには一驚を喫した之等の點は自分が始めて朝鮮を見た時に比較して殊更目立つて進步して居ることが解る今回自分の出張用務は旅順に於ける工科學堂の事務視察に在るけれど往路先づ本溪湖の製鐵所撫順の炭坑等を視察し旅順大連方面の工業狀態をも視察し樣と思つて居る旅順では沙河口に於ける滿鐵の

▲汽車製造所 等をも充分視察し度いと思つてゐる歐洲戰亂勃發以後は此所で汽車の修繕は勿論盛んに其の製造をも行ひ內地の需要を充たして居る。由來我が國の製造工業は歐洲戰亂の影響を受けて著しく進步したが之れは勿論喜ぶべき現象ではあるが世人は須らく戰後に於ける事業經營を如何にすべきやとか或は日本は戰後に於て先づ何事を爲すべきやとか果して何物を造るべきやと言ふ樣な問題に焦慮し徒らに事業其れ自身の必要の程度を論じて居る向きもあるが此のやうな事は殆んど意味のないことだらうと思ふ自分に言はせると何を造るべきかと言ふ問題の解決は

▲事物に關聯 するより以前先づ人を作る事にあると思ふ日本でも戰亂の影響で今迄獨逸とか英米邊りから盛んに輸入されて居た物が一時に杜絕されて仕舞つた結果或る程度迄は製造工業化學工業と言ふものが進步して大抵の器具機械藥品は出來る樣に成た一時非常な打擊を受けた染料の如きも昨今大阪に染料製造工業が出來て政府も盛んに補助を與へて之れが製造に腐心して居る樣な有樣であるが其他製鐵事業の如きも各地に勃興しつゝある情勢ではあるが一朝平和克復して戰亂終結を告ぐる時に成ると今迄輸入杜絕して居た各種物資は

▲滔々として 流れ込むで來るに極つて居る此の場合に及んでは今迄經營し來つた各種事業を如何して衰亡せしめないかと言ふ問題が湧いて來るのは明かな事で是に依つて決して戰後經營すべき事業の種類等を云爲する暇は無い筈である只獨佛英米邊りから精巧にして廉價なる物資がどしどしと輸入される樣に成ると今迄行つて來た仕事を潰さない樣な工夫が何よりも大事な條件となるのである此所に於てか自分は先づ人を作れと絕叫するのである敎育機關の改善と言ふ樣な事も無論必要だらうが學理と實際に於ける技術とが一致しないものであるならば

▲一面に於て 高遠なる學理の人を作ると同時に他面に於ては老練なる技術の人を作ると言ふ事が甚だ必要である即ち工場動員と言ふ樣な事が當然起るべきであらうから工業のみならず政治、商業一般經濟方面にも各々其の人を作ると言ふ事は焦眉の急務であると言はねばならぬ今列國の情勢を觀るも盛んに一定の方針の下に着々戰後の處置を企劃しつゝあるのであるが此際徒らに安閑として戰爭の御蔭で金が儲かる懷が温いと言ふ樣な風をして得々たるは自分の採らざる所である

東京より

在京 一記者

獨逸東漸と極東問題(下ノ上)

出兵反對論に就て ○次に吾人の辯せざる可からざるは獨逸が東邦に進出するよりも、寧ろ印度に侵入すべきを以て、出兵の要なしと云ふ說是れ也。○露獨講和條約、並に其の條約に附帶せる政治的、經濟的の協定は一般に一千九百四年の露獨通商條約を復舊すると同時に、波斯及び阿富汗斯坦に於ける政治的經濟的の直接聯絡を保證するもの也。苟くも獨逸にして此條約に由り、露國と聯絡するを得る以上は中歐同盟軍は南下して波斯に侵入することを得べく、又中歐同盟軍にして波斯に侵入することを得る以上は印度に侵入することを得べく。印度の狀態が頓に危險を感ぜざるを得ざるは、最も勢の覩易き所。○獨逸が印度に侵入し、英國の寶庫を奪ひ、之をして孤立せしめむとするは、吾人彼等が豫定設計の一たるを疑ふ能はざる也。○獨逸にして、既に波斯に侵入し印度に侵入する計謀を有する以上は、之と同時に、西伯利方面より東邦に進出する計畫をも有するものと推定せざる可からず。但だ獨逸が印度侵入を先にすべき乎、將た東邦進出を後にすべき乎、將た兩方面同時に活動すべき乎は。未だ知る可からずと雖も、獨逸にして波斯、印度方面に侵入せむと欲せば先づ波斯方面に於ける英軍を驅逐せざる可からず。加るに英國の印度國境に對する防備亦其嚴重を極むるに於て、獨軍の遠征必ずしも容易なりと謂ふ可からず。之に反し、西伯利方面並に支那の西北疆は、荒寒の野にして、何等の防禦なく、殆ど他の蹂躙に任せつゝあり、苟も獨逸にして露國と聯結し、西伯利亞方面に於ける十餘萬の俘虜を統率し、新疆、及び甘肅方面に侵入せん乎、所謂無人の境に行くと等しく千里の山河一瀉して彼等の掌裡に歸すべく。更に進みて滿蒙地方に出づるも、支那の背部を擣くも、自由自在なりと謂ふ可からず。故に獨逸が印度侵入の計畫を有するが故に、東邦進出の虞無かるべしと云ふが如きは、所謂似て非なるの說にして、深く取るに足らざる也。○且つ獨逸にして印度に侵入せる以上は、我が國民は、日英同盟の條約に基き援助の義務を有するを牢記せざる可からず。故に、獨逸が印度侵入を先にするも、東邦進出を後にするも、未雨綢繆の計は豫じめ之を今日に講せざる可からず。而して我が帝國の西伯利出動は、未雨綢繆の積極的の準備にして、一方には露國の獨逸に隸屬せむとするを防ぎ、他方には獨逸の印度侵入に對して、之を牽制する一大勢力たるを知らざる可からず。世の論者、獨逸が印度侵入を先にすべきを豫想し、東邦の苟安的平和を夢むるが如きは、其の迂も亦太甚しからずや。

●大保丸淸津著

神戶組合汽船の日本海橫斷航路初航船大保丸(七百五十噸)は廿四日朝淸津へ入港同地にて大豆三千個を積載し同夜城津へ向ひ更に同地にて生牛百五十頭大豆一千個を積載し敦賀に直航の筈なり(淸津特電)

●九大生朝鮮見學

九州帝國大學工科醫科大學生三十餘名は朝鮮見學の爲め四月一日渡鮮の豫定なるが其の日程左の如し

▲卅一日門司發▲四月一日釜山着▲二日南大門着(午後二時五十分)▲三日京城滯在▲四日南大門發(午前九時)仁川行(仁川發午後六時五十分)▲五日釜山着午前五時四十分

●鹽澤大佐歸任

管內巡視中なりし鹽澤京畿道警務部長は二十三日夜歸任せり

●活躍せる大阪の事業界

一記者

▽時局の好影響 に浴する大阪は歐洲時局以來歐米品の輸入難及び支那印度南洋方面に對する輸出貿易の旺盛なると共に本邦各種事業界の活躍を促し延て新事業の勃興は事務の擴張計畫となり大正六年度の事業界は百花繚亂の狀を呈せり特に我工業の中心たる大阪は事最も甚だしく大阪商業會議所調査によれば昨年中大阪に於て銀行會社の新設資本總額は一億九千百四十二萬圓にして擴張資本總額一億三百三十二萬圓此の新設及び擴張資本總額三億千百九十四萬九千圓に達し全國の事業新設擴張計畫資本十五億六千二百五十二萬圓に比し其の五分の一以上を占むる盛況を呈せり試みに

▽各種事業の別 を表示せば左の如し

▼新設會社

事業別	會社數	資本金(圓)
水產業	二	一〇一、〇〇〇
林業	三	九五〇、〇〇〇
醸造業	三	一五三、九五〇
飲食品	五	二三三、〇〇〇
纖維工業	四一	二一、三一二、一〇〇
化學工業	五〇	八、四八六、九九六
[illegible]工業	五	一二八、六〇〇
[illegible]業	一一	三、五九六、六五〇
[illegible]業	四二	七、九四一、四〇〇
造船	五七	五、一七〇、〇〇〇
機械製作	五二	四、五四八、九四七
其他雜工業	一	二、七二三、四〇〇
瓦斯電氣業	二一	三、〇〇〇、〇〇〇
[illegible]製錬	一五六	五七、九八〇、三〇〇
各種販賣	二	一八、七五四、五〇五
倉庫業	三	一、〇〇三、〇〇〇
銀行	三	三五、〇〇〇、〇〇〇
信託業	一七	四、七六七、五〇〇
運輸交通	二五	三、一九五、一〇〇
雜業	七〇	一九、三八五、〇五〇
合計	五七八	一九八、四〇〇、〇四八

新設會社數は五百七十八社にして前年新設四百二十七社に比し百五十一社に增加し資本額は一億五千二百五十餘萬圓の增加を示せり、新設會社種類別により其の數及び資本額を見るに左の如し

會社別	社數	資本金
合名會社	九六	三、五五五、五〇〇
合資會社	三三五	六、八〇四、五四二
株式會社	一四七	一八、〇六〇、〇〇〇

以上により一會社の資本平均を算出するに合名會社三萬七千餘圓合資會社二萬三百餘圓株式會社百二十萬餘圓にして一社の總平均資本は二十五萬八千餘圓となり大體に於て合資組織の小會社の勃興最も甚しかりしを推測せられつゝあり翻て舊設會社にして業務擴張の爲資本の增加をなせるもの六十三社にして其金額一億千三百卅二萬九千圓にして一社平均增加額は百七十九萬九千餘圓に當り新設は一見泡沫會社

▽小會社等簇出 の觀なきにあらざれど舊設會社資本增加額の頗る大なりしは大阪事業界の大勢健全なる發達を示せるものと推測し得られざるにもあらず

≡大邱≡

▲養蠶工場 過般來邱せる長野蠶業視察團中上田蠶種製造株式會社重役は朝鮮に於ける蠶業の有望なるに着目し本社と交涉の末近く大邱龍山に二箇所に其の分工場を設置すべしと ▲學藝會 大邱尋常小學校にては去る二十一日午前九時より學藝會を開催し生徒の遊戲唱歌朗讀唱歌理科手工算術圖畫地理話方裁縫作法等を父兄及び一般來賓の觀覽に供したるが成績極めて良好なりき ▲郵便局長披露宴 大邱郵便局長加納岩次郎氏は新任披露の爲め二十三日午後六時より在邱官民の重なる人々を料亭大和に招待せり

≡群山≡

▲普校卒業式 群山公立普通學校にては二十三日午前十時より同校講堂に於て天野府尹其他來賓生徒父兄百數十名列席の下に第十回卒業證書授與式を擧行したり卒業證書を授與せられたる者男女合計五十九名修業證書を授與せる者各學年を通じ男女合計二百六十二名賞狀を授與されたる者各學年を通じ男女合計四十九名學術優等品行方正の爲め特に道長官の表彰を受けたる者一名ありたり因に來學年新入學兒童は男百名女四十名なりと ▲府協議會 群山府にては二十三日午後一時より府廳樓上に於て大正七年度歲入出豫算案に關し府協議員會を開會したり

□電報不著

東京方面よりの電報は引續き輻輳延著にて本紙締切迄に著せず明朝刊に揭載すべし

人事消息

▲佐々木正太氏(慶尙南道第一部長) 廿四日夜入京[illegible]へ

▲進明女子高普校生徒 十八名二十四日午前開城へ

▲金應善氏(李王世子附武官) 二十三日午後東京より入京

▲小林東亞煙草重役 二十三日午後釜山へ

九州要地歷訪(六)

門司にて 別府生

◇建設時代の工業

◆門司の事業界を一瞥するに淺野セメントが時局による需要激增に遊びて躍動せる外、鈴木合金工場等あるも多く數ふるに足らざる如し、又將來も何分土地狹少にて餘地を見出し得ざるに付到底望み難からん、但し今後北九州の工場を支配する首腦部は地理並に便宜の關係上門司に置かるゝに至るべしと日銀支店長の如き豫想しつゝあり、之等の點に於ても、門司は吞吐港たる以外に益々繁昌を來すべき乎と存じ候

◆諸物資積卸地としての門司港には多くの缺點を有するに似たり目下政府にては其の對應工事を計畫し關門の海岸に行ひつゝありその何なる程度まで船付場としての門司の缺陷を補ふべきかは、第一期第二期に亙る計畫ありとの事にて小生詳らかになすを得ざるも第一期工事の既定に屬するもののみ大正九年度に至つて竣功するも其の荷役上の受くる便利は多大なるものあるべしと存じ候、唯背後直ちに山岳、前方潮流の速かなる海峽なれば、其の理想的築港を施す如きは結果は素より之れを見る能はざらん

◆序でに關門貿易の統計を聞くに歐洲戰亂以來北九州の工業的勃興機運がいかに動きつゝあるか、又關門に於ける貨物の發著がいかに旺盛となりしかを知るに[illegible]す、乃ち戰爭開始後の第二年たる大正四年は移出入貿易合計は六千四百萬圓に過ぎざりしが大正六年には一億四千二百萬圓に上り二倍强と成り居り候、而して前揭の外大阪神戶等の他港に於て輸出手續をなし、門司にて積出したるもの約九千萬圓あり、結局合計二億三千餘萬圓を算し、關門の對外貿易は朝鮮の全貿易に匹敵すとは川崎門司稅關長の談に候ひき、右の外臺灣並に阪神方面に對する沿岸貿易の數量も夥しきものなる事は勿論に候

◆總括的に見たる北九州の工業に就ては筆を改めて通信可致候、唯玆に一言を加ふれば北九州に於ける工業勃興の聲は近時夥しく高きも、其の實質が評判程に盛大なるや否やは多少疑ひ無き能はざるの如し、事實を曰へば北九州の工業は目下の所多く建設時代也、創業時代也、乃ち過程期にありと云ふを當れりとすべく、其愈々殷盛時代に入るは茲數年後の事と存じ候

◆遮莫、戰亂以來鐵を中心とするもの並に化學工業の新興及び所設事業の擴張は注目に値するものなくんばあらず、其の一瞥を大里振出しに試みる考へに御座候

南大門行 十一月一日現行 [illegible]

富籤的の販賣法を改善するのが第一の目的

債券販賣法案で大打撃を受る債券業者＝衆議院を通過した

勸業債券の月賦販賣といへば鳥渡その方法が面白いので申込み者があり京城にも債券月賦販賣業者が頗る多く隨つて斯業の通弊たる不正手段を用ふる者尠からず警察官憲では之れに對して取締りつゝあるが大藏省當局では今度『有價證券割賦販賣業法案』を議會に提出し既に衆議院を通過し

△貴族院に廻附 されて居る、その爲めに全國五千有餘の債券屋は可なり大打撃を受けるらしく關西方面では既にその影響で債券の價格が崩落を來したとの事である、右に付き勸業銀行側では『從來債券の月賦販賣業者に不正を行ふ者が多かつたのは事實でその被害者から勸業銀行へ問合せの手紙を寄越す者が無數であつた、今度の法案が通過すれば之等の不正業者は全滅されるが夫と同時に

△月賦販賣業は 多少衰へるかも知れぬ」と云つたが、勸業債券月報社では『今度の法案で月賦販賣業者の資格を制限し、五萬圓以上の資本を拂ひ込んだ者を當局で認可すると云ふ事は、甚だ結構な事である、夫だけで不正業者の取締は充分付くのだが、施行細則に依れば月賦契約では全額を拂ひ込んだ後でなければ

△債券の所有 權が購買者に移らぬと云ふ事で、之は甚だ感心せぬ之では月賦購入者は拂込中は割增金も利子も取れぬ事になり月賦販賣の妙味は全く奪はれてしまふ事になる」と反對の意を洩らした、更に大藏省の保倉普通銀行課長は曰く『今度の法案の主旨は決して正當な割賦販賣業者を苦しめる爲ではない債券の民衆化とでも云はうか、國家

△債券を廣く 一般民衆の間に散在せしめる點から云つても割賦販賣業者の功績は認めて居る積であるが、中には不正な販賣業者があつて警視廳も從來取締に苦心して居るので、そう云ふ業を取締るのがこの法案の主旨である又全額を拂込んだ後でなければ債券の所謂權を購買者に移さぬと云ふ意味は今の儘では一圓拂込でも

△二千圓の割 增金が取れるチヤンスがあるので、抽籤の時に丈月賦に加入し二千圓を僥倖せんとし、當らなければ拂込みの權利を拋棄してしまふ人が多い。之では全く富籤同然で射倖心を挑發する事が甚しいので、月賦契約丈では所有權は移らぬ事にしたのである」

不思議がる

爲に笑はんが爲に

▽貶られてゐる未來派の繪
▽三角派の繪には力がない

疑はれたロダンの聲價

延掛三年巴里にありし洋畫家鹿子木孟郎氏は廿一日橫濱入港の郵船香取丸にて歸朝した氏は大正四年十二月に日本を出發して佛國に渡り大正六年十一月まで巴里に其の西班牙に渡り更に米國を經て歸朝したのだ留學は三度目で第一回は

◆裸體の研究 第二回は衣裳を著けた人物の研究、今度は背景即ち風景の研究に三年間を費やした之れで自分の目的たる人物と風景の背景に依つて繪畫を作り出すと云ふ點の下準備が出來た、云はゞ理想の門前まで到達したのであるが自分の畫は決して從來のものと違ふやうなことはない筈だ、目下巴里では四十九歲迄の畫家は

◆一樣に兵士 となつて戰場に行つて居る爲めサロンを始め展覽會等は少しも見られない、然し各畫家の珍藏する名畫を公開して之が入場料を軍費に獻納すると云ふ企てが多いから比較的卒業見ねない古名畫を見る機會が多かつた、而して老大家は戰爭には一向氣を奪はれぬと云ふ風に靜かに其製作をやつてゐる、時時戰場から休暇を貰つて歸つて來る

◆畫家の兵士 があつて話を聽くのも却々面白かつた、一時戰線が巴里の東八十哩許りの所まで來た爲めに晝夜砲聲が響いて如何にも戰場に居るやうな氣がした自分は戰後の歐洲美術が如何やうの色彩を帶ぶるかを見たいため今まで居たのだが果しがないから歸つた譯であるロダンの死んだ時には西班牙にゐて之を聞いたがロダンの聲價は死ぬ少し前になつて一部から

◆大部疑はれ 反ロダンの評論家も却々勢力を振つたが佛國の藝術が傾向を轉じやうとする先驅ではなからうかと思ふロダンが若い夫人と結婚したとて日本で大評判のやうだつたが彼の夫人とは久しい前から同棲してゐたので巴里では何等評判もなかつた又未來派、三角派には多少の同情者もあるが民衆にしろ評論家にしろ大部分は笑ふため不思議がるために之等の畫を見に行くので何等力あるものでない」（東京通信）

不遇に終つた千葉鹿峰氏

少年時代は名文家 漢學者一流の狷介の性質は遂にその一生が不遇だつた 國分司法部長官談

鹿峰千葉昌胤氏逝去の報を齎し國分司法部長官を訪へば『氏とは明治十四五年頃三島中洲翁の二松學舍時代の知友であつたが私よりは年少で其頃私が二十歲で氏は十七八の少年であつたと記憶してゐる

△二松學舍 には文章を主とする者と經學を主とする者との二派があつて氏は文章派の方に屬して居たがよほど文章に巧みで少年名文家を以て聞ね嶄然儕輩に擢で〻居た、其後私は二年許りで同學舍を去り明治四十一年當地に轉任して來た頃には氏は既に私に先んじて

△財政顧問 に附隨して渡鮮してゐたが病氣の爲めに一旦內地へ歸り再び京城へ來て警視廳に奉職してゐた然し間も無くそれも罷めて朝鮮を去る迄李王職の奎章閣で古い書籍を調べて來たのであるが其後經學も詩も學んだと見えて詩は

△殊に晩年 著しく進境が見ねた樣であつた、何分漢學者一流の性質で狷介世に容られず孰れかと云へば不遇の身の上であつた、昨年朝鮮を去つて東京へ進むに當り今日衰微の傾向の見ゆる東都の漢學界に氏が何等かの貢獻を爲さん事を實は心私かに期待して居たのである

△氣病の事 は聞いても居たが斯くも早く訃音に接し樣とは思はなかつた事であつて洵に痛惜に堪へぬ次第である』

圖們江解氷

咸鏡北道慶興附近の圖們江は十七日解氷し渡船の初航を見たり因に昨年よりは十三日早し（清津特電）

卒業生の賣口が全部決定した

▽東洋協會植民專門
▽京城分校の卒業式

東洋協會植民專門學校京城分校に於ては二十四日午前十時半より同校にて第十一回卒業式を擧行し卒業生十八名に對し卒業證書を授與し卒業生二名に賞品を授與し高橋總督附武官總督告辭を代讀し入澤京畿道第一部長松永道長官告辭を代讀し久保滿鐵京城管理局長祝辭を述べ卒業生總代答辭及び謝辭にて答辭を述べ式を終る尚卒業生氏名並に就職先左の如し

▲江崎昌夫氏（三井物產支店）▲波多野恭術（鮮銀）▲小川治（鮮銀）▲奧村秀次（鮮銀）▲小倉總一（鮮銀）▲渡邊直正（滿鐵京管局）▲內海鐵次（三井鑛山）▲長島晃二郎（鮮銀）▲佐藤太平（三井物產支店）▲山田喜久太郎（鮮銀）▲松尾文市（金融組合）▲志賀義雄（東拓）▲宮城松作（鮮銀）▲平田十三（三井物產支店）▲森永庫太（滿鐵本社）以上十八名

中學生の有價證券僞造

神奈川縣立第一中學の怪事

神奈川縣立第一中學校生徒井林良作、杉森榮次郎、元同年生三橋光之進、二年生宮本俊保の四名は廿三日有價證券僞造行使罪印形僞造行使詐僞にて神奈川署より一件書類を添へ檢事局に送られたり（大阪特電）

郵船古倫母丸

長崎五島沖合航行中の出火

日本郵船會社の瓜哇航路船古倫母丸（四千五百八十七噸）は二十三日朝長崎縣五島大瀨崎燈臺沖合を航行中火災を起し船長以下は折柄附近航行中の淸光丸に移乘せりとの急報當大阪郵船支店に入電ありたり（大阪特電）

北條禪師遷化

京都淨土宗大本山百萬遍智恩寺管主北條禪旭師は石川縣教中三隅極樂寺に留錫中俄かに發病二十二日遷化す（大阪特電）

前市會議員召喚

京都の瀆職事件に就き前市會議員山下某及び前市會議員京華日報社長森木重次郎氏等召喚を受け猶他に數名召喚さる丶見込なり（京都特電）

妓生の家で情夫同志の刃傷

嫉妬に目眩む三十男

京城武橋町李熙敏（三二）は三月十四日夜元妓生にて馴染仲なる黃金町二丁目韓英爹方に行きたる際麻油の田熙泰（三二）が居合せたるより嫉妬の餘り有合せたる木枕にて田を亂打し更に庖丁にて斬りつけんとして格鬪の結果田は三週間の治療を要する負傷をなし熙敏は傷害犯人として本町署に逮捕さる

京龍仁圍碁大會

仁川旭屋旅館に開催

本社仁川支局主催にかゝる京龍仁圍碁大會は愈々廿四日午前十時から仁川旭屋旅館に開催したるが折柄の雨催ひなりしにかゝはらず京龍仁川は素より遠くは元山、水原、開城等より遠征者を見たり、當日午前十數番の對局ありたるが中に來會者の最も注目を引きたるは萩原氏（京城）と坪井氏（仁川）との對局なりしが坪井氏遂に勝を握りたり。猶午後更に對局數番の手合せありて盛會裡に對局を進めつゝあり（仁川支局電話）

讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

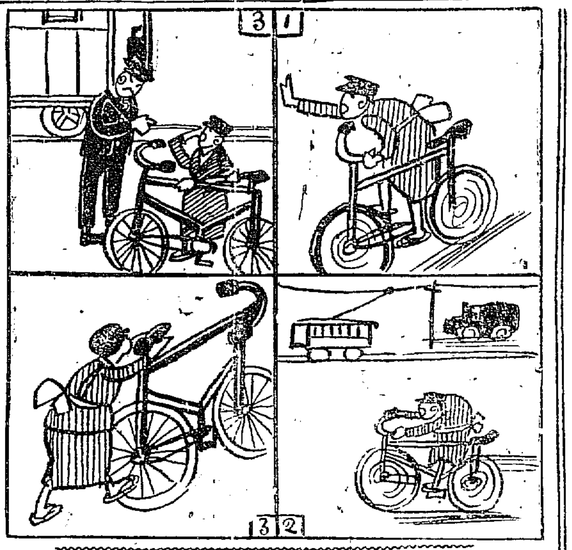
△一口噺「眼事」
○先生「米が無ると世の中の人は皆困ります」米屋の子「夫れでも私の父はもつと騰ればよいと云つて居ります」（一等） 平北寧邊郵便局 宮崎寒扇子

△内「四月から又郵便料金が騰るさうだ」與太「フン誰が切手の買〆でもしたのだな」 安城 碧

△先生「君は六年生になつて何故世界地圖を買ひませんか」生徒「今度の歐洲大戰亂が全然終るで私になつたら世界地圖の色分けが變るさうだと父が申しましたそれで私は地圖の色別が定まつてしまつてから買ひます」 平壤 政平

日曜ポンチ 三郎さんの日曜

麥公作 助太郎畫



（一）前の日曜は風のために一日中家に引込んで北さんや逆ちやんを泣かせてばかり居た三郎さんは小人は閑居して不善をなすからさ大いに悔つて今日は黃金町通りから訓練院に出掛けて自轉車乘りをする事に決た、三郎さんは氣が早い、心に思ふと決るともう一寸の間もぢつとして居られない性分だから僕お晝食は歸つてからにしますとお母さんに言つて止めるのも聞かず身體よりも大きいお父さんの自轉車を引張り出し、把手に飛付くやうにしてペタルを踏み出しました

（二）三郎さんの脚は短かいから無論膝は揚らぬ、殆ど自轉車にぶらついて走るやうなものだから速力が遲い後から來た電車も追越して行つて了ふ自働車も馬鹿にしたやうな喞聲で三郎さんを嚇かしながら臭い屁を嗅がして行つて了ふ、三郎さんは隨分癪に障つたが向ふが速いんだから仕方がない、そう〳〵足が疲れ出したので止めて了はうかと思つたが黃金町通りの眞中で自轉車を降りたりなんかすると人に笑はれる、口惜しい、獨鈷いどうしようかしらと考へたがどうにも仕方がない、其儘で走つた。ガムバレ〳〵

（三）三郎さんが腹の中で獨りで首肯いて居ると其後から電車がやつて來て例に依つて追越して行かうとしたので三郎さん一生懸命にペタルを押して電車に追ひつき引降口の棒に擱まつたなり電車に引張られて行く、暫くの間は車掌にも知られなかつたが黃金町の十文字の乘替場まで行くと旗振りが見つけ出してオイ何故デンシヤに擱まるのでしかと言つて大目玉、三郎さんは平あやまりにあやまつて許して貰つて訓練院まで行つたがさて著いて見るとすつかり疲れて了つた上にお腹がペコ〳〵なので遂つて了ひさう〳〵稽古もせずに自轉車を押して家に歸つて參りましたとさ

春の衛生

木の芽時は眼の用心が肝要

平壤 政平

一雨每に寒氣は薄らいで何時となしにぽかぽかと春らしい氣分になつて來た、木の芽が萌え出すと彼の眼科醫の玄關に流行眼とか逆上眼とか、古來から稱へられてゐる眼病が多くなる、今ノボセメとかハヤリメとかの容態を擧げて見れば結膜に充血して紅色を增し

◆淚が流れ 脂が出て、恰も異物が入つた樣に疼痛を覺わ每朝臉が閉ぢて、開く事が難儀となる、又た眼瞼が浮腫したり、眼球結膜に往々水胞や溢血を生じる事がある、又劇しいのになると膿樣の分泌物を呈するものもある我々は之を急性結膜炎と稱へるのであるが、其病原を細菌學的に區別すると一番多いのが、コツホウヰークス氏の桿菌で、肺炎菌や、モラー、アクセンフエルト菌、インフルエンザ菌、連鎖菌、葡萄狀菌等である

◆眼脂の出 る患者から治療を賴まれた場合、一定の設備があり、榮養のある醫家が、分泌物を取つて顯微鏡檢査を施してからでないと、治療に著手せぬのは、譯のある事である、彼の淋毒性結膜炎（風眼）の如きも、最初は此急性結膜炎の容態で始まるのであるから、治療に著手すると否とは、單に該當患者に取つて大變の損得を釀す許りか、周邊の人々に傳染の危險があるから、呉々も周到の注意を怠つてはならぬ

◆患者の側 から見れば一時病が消退すると苦痛を感ぜぬのと假令全治を望んでも尋常の手段では思ふに任せぬから根氣を折るので往荷全治せずに年々歲々春亦秋の發症に次ぐに繼發症を以てし病毒皆に入るのである爰に該當患者の不幸は勿論の事國家全般に及ぼす能率上の大影響を考へて見たならば思ひ半ばに過ぎるものがあらう今や幸に理想的の療法が發見せられ雖に上層にある病變許りでなく深部に潛んで居る病竈をも除去することが出來、加之

◆局所麻醉 によりて疼痛を感ぜしめぬから、五六歲の小兒も施療する事が出來るし、猶新に病痕を形成せしめぬ長所がある許りか、長い時日の觀察の下に確に再發の峯である事や、角膜に合併症を起して居た者にも時日の經過と共に漸次視力を增進せしめる事が出來る樣になつたのは實に幸福と云はねばならぬ、序乍ら『トラホーム』患者の公德心に訴へたい事は

◆此病氣は 傳染病であるから洗面器や手拭やハンケチ、寢具等眼脂の附着する物は區別して他人と共用せぬ樣に注意を拂はねばならぬ事である、又自分に本病に侵されて居ても慢性の『トラホーム』で炎症の少い場合では患者自身には一向平氣で暮して居て漸く醫師の檢診の後に發見する事が往々ある事實であるから下女下男書生乳母等は一應健康診斷を經てから住み込ませるやう注意せねばならぬ。

一家和合

◉春子夫人は大正館の活動寫眞の鐵の爪が映寫される頃から堪まらなく頭腦の痒さを感じた春子夫人は今朝結上げさせたばかりの丸髷をすつかり毀してしまひたい樣な氣がした『あゝ早く寫眞がしまつてくれゝば可い』春子夫人は何より好きな寫眞も今夜丈けは呪はしくなつた、それが一緒に行つた大原の奧さんの鋭い目に入つたらしい『あら春子さんあなたどつか御惡いんぢやない事？』『いゝえ』『でも御顏色が大變にお惡い事よ』『實はわたくし何だか馬鹿に頭が痒くつて氣が違いやうなんですの、今朝髮結さんのことで丹毒でも傳染されたのではあるまいかと思ふと、わたしもう忌やで〳〵堪まらないんですの』『まああなたは隨分神經質ね、あなたの樣な淸潔好な方にそんな事があるものですか、ではわたくし、極よい藥をあげませうか』『わたくし、何卒！』大原の奧さんは御閑陀更紗の意氣な信玄袋から一本の壜を取出した。どうせ此中ですから充分におつけになる譯には行きませんけれど、それでも之は好くききますわ御宅へお歸りなすつたら髮を解かして髮の根に指先で擦り込んで御覽なさい、すつかり痒みが止まつて氣が輕くなりますよ。何しろ宮內省の御買上を受けた事がある……皇后宮職御嘉納の光榮に浴した事もある香水ですからね、他の香水とは大分物が違ひますよ』と、から云つて大原夫人は春子夫人の前髮に其幾滴かをふりかけた。春子夫人の其部分の痒さは俄に消ねてしまつて逆上切つて居た春子夫人の心は蒸暑い夏の夜に一陣の涼風が吹いて來た樣に忽ち冷靜になり行くのを感じた春子夫人は淚ぐましい程の嬉しさを感じて其香水の壜を手に取つて見た。すると其ペーパーには『カユミ止メ、フケトリ、ユーニオン香水』の、文字が英語で鮮かに讀まれた

◉それから一週間ばかりして、大原夫人は下の如き手紙を受取つた春子夫人の水莖の邃美しい玉章は封をひらくと得ならぬ香氣が、大原婦人の心に一種の快感を與へた『妾はあなたを再生の恩人と思つて居ります、此前活動寫眞で頂いたあのユニオン香水ねわたし自家へ歸ると直に指で皮膚へ擦込んで見ましたら忽ち痒みが止まつてあんなに悲觀したのは馬鹿〳〵しい樣になりました。それに驚いたのはたのであれから每日つけて見ました翌朝になつたらフケがみんな取れてしまつた事です、餘り嬉しかつたら髮の毛の粘氣を取ていつもさら〳〵ともう蒸れ臭い感じなどは全く失りました。それに氣の故か毛色も黑くなつた樣です、それで急に京城本町塚谷から一打程取よせて女中達にも試驗させましたら私以上に効果が見ねました、それに不思議なのはあの不精ものゝ良人が此香氣丈は可いと云つて洒落につけて見ましたら精神が俄に爽かになつて一日役所で疲れて來た頭腦も忽ちさつぱりしたと申しましてね、目下春先で逆上せやすい倅や娘にもつけてやりましたら、みんな急に頭腦が明晰になつて非常に記憶力が增したと大喜びなのでございます、その爲に家はヒステリーがすつかり止み良人は癇癪が直り一家和合の嬉しい日ばかり續いて居ります、承ればユニオンとは和合とか協同とか云ふ事ださうですね、成程これはユニオン香水に相違ないと只今も大笑致しました、それもあなた樣の賜のと餘り嬉しくつて堪らないので一寸に御禮を申上ます』支那蜜柑一籠つまらないものですが、わざ〳〵送つてまゐりました故御覽に入れます。御笑納を願ひ上げます

月　日　春子より
大原奧樣御許へ

菓子職人四名至急入用
平壤南門通 井上日進堂

時計貴金屬指輪眼鏡商
協力の御註文は代金引換にて發送
京城本町二丁目 三浦天龍堂 電話一〇〇二番 振替京城三〇四番

東洋捕鯨株式會社特約販賣店
鯨問屋 香月商店
京城府明治町二丁目四八 振替口座京城四八四六番
◉特約店希望の方は申込あれ

強胃消化錠
八木田博士御處方 島田博士御鑑定
アナタの胃病にはマーゲン
本劑の特色
二博士御處方の本マーゲンは病原的に胃病に效あり其本能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し胃弱を治し爽快にする
大阪市東區本町五丁目 畑田保藥房

在庫品賣却廣告
コンパン、コンデンシツク
蒸氣機械 ……
低壓汽罐 ……
高壓汽罐 ……
振車直徑、……
右安價を以て賣却致度候間御入用の御方は御來談又は御一報被下度御相談に應す可く候
平壤大和町 山中商店
電話長八四一

仁川 白神洋行 京城
鐵 鋼 材 浪板、平板 針金、洋釘
ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャベル 滑車、ロープ 機械、工具 附屬品 其他
新田帶革總代理店

釜山商店案內

洋酒 罐詰 糖粉 卸商
釜山 やまづあ商店

長岡商店

酒精、西貢米、砂糖 壜詰 燒酎 碎米 麥粉 大豆 大豆粕 食料品雜貨
釜山埋立新町 福榮商會 電話長一〇八番

雜貨問屋
明治屋本店

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋
釜山 山西商店

肥料
釜山驛前 マルカク商店 電話長八三 振替三九二

◉火事 二十四日午前三時五分頃京城通洞百四十六番地朴儀鎬方[illegible]

◉仁川波鴒會 仁川波鴒會は廿四日午後一時より遍照寺に於て第九回[illegible]會を開催したるが素齡仕舞[illegible]

◉廿四日午前釜山入港さくら丸の二等客 一等（七名）小山正夫、中村吉造、小松繁治、海津米太郎、橋本所儀、外人一名 二等（八十四名）吉田清四郎、同ふじ、高木[illegible]衛門、原下義一、村口餘松、同勇、堀尾陽三、山梨清一、佐藤鳳卿、坂井しづ、同儀子、高木藤右衛門、西藤住松、同かれ、同正夫、同千代、同ふく、奧ふじ、松田龍三、佐古清一、藤本俊次郎、同しかの、同まる、三木勇助、和氣都光、秋吉喜吉、山縣五十郎、寺村かつ、同たか[illegible]
一等（一名）外人 二等（二十四名）大島巳之助、浩見與、同光吉、村直信、藤田新藏、中田重藏、同いち、岡田敬吉、同ふじ、森恒太郎、同郁定八、同かめ代、同初子、川橋主之助、高原惠十郎、丸山久三[illegible]

[illegible]興、眞牛、永興及び忠清南北道、全羅南北道、慶尙南北道沿岸及び內陸警戒を要す

課題及び募集規定
締切 廿四日 廿五日

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚每に雅號又は其の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢書籍券を呈す▲賞賀は一週間後▲種類の異る每に用紙を更[illegible]

天氣 小雨後曇

◇雪のイルクツク地方

—氣象上の活動の中心地—

◇零下六十二度といふ寒になると樹上の小鳥が落ちる兎が死ぬ◇

冬の朝鮮で最も恐れられて居るのは西北風である、此の風は氣象界で所謂活動の中心地と言はれてゐる蒙古西伯利亞方面に起る高氣壓の流れである、がその最も

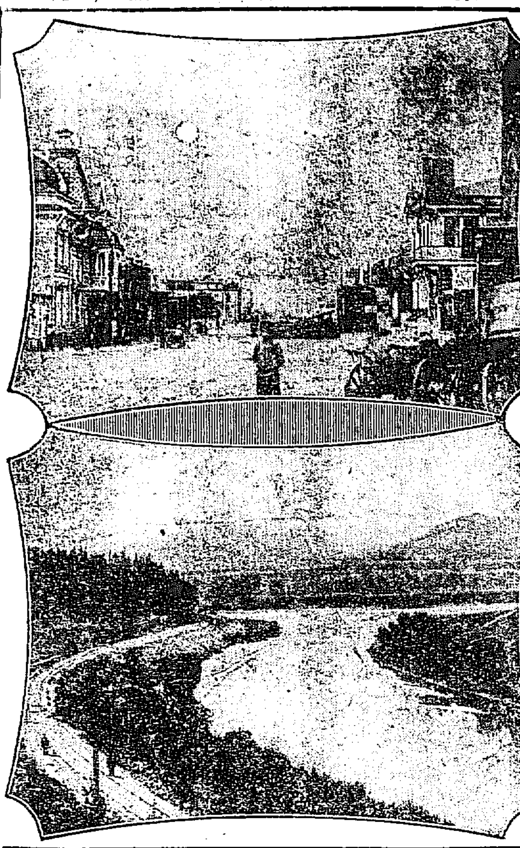
◆中心地として目されてゐるのはバイカル湖及びイルクツク附近であらうと思はれる、地圖を擴げて見るとイルクツクは亞細亞洲の中心點で腹で言へば恰も臍のやうな處であるから氣候は大陸的たるを免れぬ理で東西西伯利中此の都位ゐ

◆寒氣の激しい土地はない、厳冬中は零下四十五度は普通で卅五年目前とかに零下六十二度と言ふ意想外な寒さが見舞うた事があつたが怎麽場合には硝子がパリ／＼と裂れる木の枝に止つて居る

◆小鳥がポタリ／＼と落ちる兎が死ぬと言ふ激しさ、三十分毎に交替する哨兵が行つて見ると斃れた事もあつただから人間の防寒の厳重さと言つたら甚しいもので馬車屋も馬車に乗る客も皆熊の毛皮で圓々と身體を包み眼だけ出してゐるから恰度熊が馭者になつて熊が乗つてゐるやうな奇觀を呈する、少し田舎に行くと想した寒さを冒して

◆密林の中で熊狩をするが猛獸狩は却々勇壮なものである今頃はまだ河も山も結氷してゐるが今暫くすると一時に解けて泥濘脚を没するやうになるさうなると軍事行動などには大分困難するであらうが此の冬を西伯利で滞陣するやうにでもなると寒さ慣ない日本兵は随分苦しい目に遭ふであらうと思はれる

◆イ地方の勇壮な熊狩



◇西伯利亞チタ市(上)とバイカル湖東岸(下)

於ても時宜に適したる事となし早速許可し來りしを以て目下孟督軍は我が官憲との間に協商中なりと(吉林)

◉紙幣増發影響

支那當局は陸軍第五旅の新設費及び北蒲出兵費等を名とし例の官銀號をして又もや大洋一百萬元、官帖一千萬吊を發行せしめたり之れが爲め一般相場及び物價の變動甚だしく市民を憂慮せしめ居れり(吉林)

◉鎭南浦大連線

大阪商船の長崎大連は十四日限り廢航となり從つて南浦寄港の途も絶たれたる次第なるが朝郵會社は右航路の缺陷を補はん爲め現に仁川南浦間の航路船宗信丸(二百噸)を以て南浦大連間の專門航路に充當し四月早々より開始する事に大略決定したるやにて宗信丸の代船としては全州丸を就航せしむる事となるべしと尚ほ右宗信丸の南浦大連航路は一箇月四回との事なれば愈々實現の曉は從前に増して便益多大なるものあるべし

◉防疫交渉打切

三宅領事代理は山東方面より來航する旅客の防疫方法につき先頃來支那官憲と交渉中なりしが此の程都督府より山東のペストは已に終熄の模様なるを以て大連の防疫も不日解除すべしとの電報に接したれば右交渉は一先づ打切ることゝなりたり(營口)

◉邦人顧問雇聘

吉林省に於ては奉天の例に倣ひ日本人軍事顧問を聘傭するに決し既に北京へ申請したるが中央當局に

◉由緒殊に深き月尾島に

◆植ゑらるべき櫻樹其他◆

◆是より全島花の山となるべし

仁川灣内の月尾島は其の昔故花房義質子が朝鮮公使たりし時暴徒の難を此の島に避け現に島内の深谷にフワバングスー(花房水)といふ清泉の遺蹟を遺してゐる、之は當時公使一行が此の島で息をついた時に此の清泉で渇を醫したといふ故事に依つて名づけたものである而して同島は恰も鹿兒島に於ける櫻島の如く、仁川市街の前面にある島であつて、是から追々陽氣が暖かになると市民の行樂地として非常に賑ふ所であるから先年仁川府では之を公園地とする計畫を立て勸業模範場より櫻樹其他の苗木多數を請受けて全島に大々的植樹を試み之を立派なる遊樂地となす事となり本春直ちに實行の運びに至つたので茲に水原の勸業模範場より多數の苗木を發送し不日仁川に到著する豫定であるから仁川府に於ても之れが受取方準備のため田中府書記及び島崎技手を水原に出張せしめたさうである。

◉苦力續々來る

季節と營口市場

遼河解氷せしを以て例年の如く福昌公司の供給に係る多數の石炭苦力集團は二十一日大連より營口に著せり(營口)

◉覆面の强盗に斬られたる夫婦

夫は遂に死亡す

去る十四日午前三時頃龍岡郡吾新面松城里四七四農朴來京(六五)方へ扉を乗り越へて押入りたる覆面の强盗あり朴來京及び同人妻玉姓女の二人を携帯せる朝鮮庖丁にて滅多斬りに斬り付けて重輕傷を負はせ一物をも取り得ずして賊は逃走し朴來京は創傷の爲め十六日午後五時遂に死亡したるが鎭南浦署にては時を移さず李巡査部長等出張して犯人逮捕の手配に著手し已に有力なる嫌疑者として鮮人一名を引致し目下嚴重に取調中なり因みに朴來京の死體は有木醫師出張解剖に附したる筈なるが被害者は當日米を賣りて百數十圓の現金を受取りたる事ありと言へば多分夫等の事を知りて强奪せんとの所爲に出でたるものならんと

料理の秘訣(五)

◆甘い御馳走も毎日では堅きがくる　取合せ方が大切

昔、榮華を極めた豐太閤が雪の夜に千利休を訪づれてのをりつまらぬ粗食に却て舌鼓をうつたと云ふ話がございますが一家の料理を預る者はこの邊の呼吸を心得ておく必要があらうと存じます今日も御馳走昨日も御馳走と日々毎日御馳走せめになつた者は却つて茶づけ飯に澤庵の方を喜ぶものでありますそれ故に同じ御馳走を揃へてもそのとり合せが旨くないと折角のが一向喜ばれませんだから昨日大に奮發して御馳走をしたときは今日は三度のうちで一度くらゐは茶づけ飯に香の物で我慢するとが必要ですそして家族の者も『何か美味いものが一つほしいなア』と口には言はずとも心に思ふ頃を見計ひ家族の喜びさうなものをこしらへるとそれこそさほどお金をかけずとも大いに歡迎されること疑ひなしでありますさきにも料理のとり合せのことを一寸申しましたがこれは料理法にとつて最も大切なことでありますから同じ晩餐のうちでもとり合せが上手に出來てゐるとどの料理もどの料理も互ひに味が引きたつて來ますがもし肝腎のとり合せ方が拙いと折角の料理が一向榮えませんそれから昨日食べたものと今日のものとがうまくとり合はされてゐなければたとひ御馳走であつてもさほど喜ばれるものではありません昨日の晩に鯛の刺身があつたとすれば今日の晩餐には何か西洋料理の一つもあるやうに心掛けたいものでありますこのとり合せは食事を喜んでさせるばかりでない延いては一家の經濟に大影響のあるものでございます。ある處に大層料理自慢の奥さんがありましたこの方は自ら誇るだけでなく全く特別の手腕のある方で誰一人この奥さんの腕前に感心せぬものはなく第一その旦那様が大ホク／＼喜んで居りましたところが最初の一二年はそれでよろしうございましたがやがて三年四年とたつうち旦那様が奥様の料理に滿足せぬやうになりましたその原因は奥様の料理通が却て旦那様が後にはあれだこれだと講釋をはじめるやうになり遂には流石料理自慢の奥様も手にをへぬやうになつてしまつたと云ふ事實がございますこれは世間によくある例で口がだん／＼に贅澤になつて行くばかりだと最後はこんな不結果となりますからせい／＼美味しいものを食べさせるは結構ですがそこをうまく梅をとつて行くことは料理の方法とともに大に必要なところでございます(完)

台所　その日／＼

◇カピタン飯◇

鯛は中位のもの一尾鱗をよく掃ひ腮をあけ腸を出し水洗ひして三枚におろし腹骨小骨を去り皮を剥き去り刺身の如く薄く作り絞りの頭、骨、皮其の他の部分は炭火の上に金網にかけ焦がす程にぼろ／＼と炙り乾いた摺鉢に入れて粉なる程に摺り裏漉しで漉し置いて次ぎに味噌茶碗二杯程を細かに取り出し庖丁で細かに刻み鍋の中に入れ鰹節出汁の方は再び鍋に戻し鯛の粉にしたるを入れ一沸立して下ろす鯛の刺身は皿に盛りよく粉山椒粉蕃椒淺草海苔、陳皮、葱などの薬味を適宜小皿に入れて出す食す時は温い御飯を茶碗に盛り其の上に刺身數片れかたのせ薬味をかけ熱い汁をかけます御飯も汁も熱くないと鯛が生臭くて味が悪くなります

演藝案内

有樂館

東京小林商會活動部一手代理店　米國ユニヴァーサル會社特約　活動寫眞常設館　電話(局上)五九七番(階下)三〇五番

自三月二十日より公開　◯人情劇孤兒の生涯　全五巻　[illegible]　◯喜劇絹本大功尼ケ崎の段　三巻　[illegible]　◯新派劇木枯しの果　全四巻　[illegible]

浪花館

明治町二丁目　電話二六〇番

當る三月二十一日より開演　◯大阪娘義太夫竹本若千代一座　四日目語りもの(三月二十四日)　△御祝儀寶の入舟(入登)　△八陣八つ目　△管原四段目　△日蓮記三段目　△阿波鳴門八つ目　△安達原三段目　△合邦辻下の巻　[illegible]

黄金館

電話二六三七　二六六

〇三月二十一日より引續き特選大寫眞公開　チヤプリンの爆彈投　全二巻　[illegible]　死の前　全三巻　◯新派喜劇　[illegible]　央劇日蓮上人御一代記　[illegible]

大正館

櫻井町　電話八七三

[illegible]　◯新派悲劇ひな鳩　全三巻　[illegible]　◯最終編鐵の爪　十五十六編　[illegible]　◯新劇馬丁治良吉　全四巻　[illegible]

コロタイプ印刷
繪葉書製造、諸記念寫眞帖
龍山漢江通八(電話五三六番)
門田寫眞製版所

電話開通
番號三一六三番
自轉車タイヤ附屬品修繕
エナメル、ニツケルメツキ塗
京城永樂町二丁目
毎熊自轉車店

常平庵主人著　最新刊　歴史的記念品　朝鮮之古錢

▼本書は朝鮮の古錢に關する唯一の發行物にして全部實物古錢を添付す
▼好古家諸氏に便ずる爲特に各貨に朝鮮、支那、日本の年代及び記事を秩序的に記す
▼歴史の參考品高麗朝の遺物として朝鮮を代表する絶好記念品なり

實物古錢添付　廿二個付 金一圓廿錢 送四錢　五十個付 金四圓 送八錢　六十個付 金五圓 送八錢

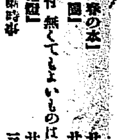
發行所　京城　ウツボヤ書籍店發兌
發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

火災保險業務開始
東京『海上、運送、火災』保險株式會社
代理店
三井物産株式會社京城支店
電話　長　一貳六番　壹一九番　七二四番

曝木綿
有權　商標　竹
發賣元
大阪本町
根津清商店
●警告　近頃類似商標を用ゆる者あり御注意を乞ふ

◉連絡船上陸客　二十三日午後入港壹岐丸上陸二三

◉暴風警報(二十四日午前九時發)　▲發文風強かるべし　▲方位東　▲記事　降雨あるべし　▲警戒區域　黄海、京畿、江原、咸鏡南道、南部、安邊、鹿原、文川、高原、咸



塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第二十五席

典膳驚ろいて 典『何が來た 仝『武者修業の男で。典膳は居るか、居るならば出迎へいたせ、典膳出ろく、典膳は何をして居る典膳は居らぬか…… 典『之れく何だ、貴様までが典膳々々と、典膳が預物に出たやうだモウ分つて居る、武者修業か 仝『左樣でございます 典『蒼蠅いな何うも、先の人物をは何うだ 仝『先のよりはチト荒ッぽうございまするな……、最前のは叮嚀で言葉使ひも穩やかでございましたが今度のは恐ろしい荒ッぽい物の言ひやうで、アノ樂ひで

やられた日には先生、事に依ると今度は命が危うございます 典『心細い事を申すな、今度打負ければ面目次第もない拙者も夜逃げをしなければならん、何にしろ出て樣子を見よう』と顏を顰めながら玄關へ出て行き 典『イヤ之れはくく先生能くお歸りでございました、コレくく門人衆早く水を持つて參るやう、水をく……〇『ソレだから言はない事ぢやアない、モウ先生やられて了つたと見ゑる、水だく』と氣付けの水だと思つて大きた茶碗へ一ぱい水を汲んで持つて來た 典『何だ之れは、白痴め飮む水ではない、洗足の水を持つて來いと申したのだ 〇『オー先生御無事で在つらやいましたか 典『拙りがあつて堪るものか 〇『私は又目をお眩しになつたかと存じまして……典『白痴め、度々目を眩して堪るものか、之れにお出でになつたは、龜井新十郎先生と仰やる拙者の先生、貴樣達のためには大先生だ、新參だからお顏を知らぬのも無理はないが氣を付けて失禮のないやうにしろ……『ヘエ―道理で貴所の事を典膳々々と呼捨てにした筈だ』門弟も驚いて早速洗足の水を持つて來る、新十郎式臺へ腰を下して草鞋の紐を解きながら 新『典膳其方も無事で何よりだ、何だか道場が騷がしい樣だが何かあつたのか 典『ヘエ何うも誠に面目次第もございませんが唯今他流試合が參りまして勝負をいたしましたる處イヤに目まぐるしい男で初めてアンな人物に出遇ひましたがイヤ何うも酷い目に逢ひました 新『負けたか 典『ヘエ負けまして 新『相變らず弱い男だ、幾歲位の人物だな 典『未だ若年でございます、人品の宜しい…… 新『色の白い眼の冷しい背は高くはないが年頃二十三四の男ではないか』典『左樣でございます 新『名前は何と申した 典『仁科某とか申しましたやうで…… 新『仁科與四郎と申したであらう 典『ヘエ左樣々々、能く御存じで…… 新『ア、其れでは先方が人違ひをして參つたか貴樣が負けても決して恥ではない、典『ヘエー其れは何故で…… 新『何故と申して仁科與四郎といふは僞名、全は常陸國塚原城の主、土佐守縣重の子息塚原小太郎勝義に相違ない先頃赤城の奉納試合に拙者が其仁科與四郎と立合つたが實に大膽な技倆、正しく塚原に相違ないと見拔いた其時拙者が龜井新十郎といふ名を憚つて近江典膳と名乘つた、處が其名札が表に出て居たので塚原が通り懸つて其名札を一見なし拙者の事と思ひ立合ひを望みに參つた者と見ゑる 典『ヘエ―成程道理で不審な顏をして私を見て居りました、そして先生其赤城の大試合に塚原にお勝ちなさいましたか 新『イヤ負けた 典『不可ませんな他人の名を擔ぎ出して勝つて下されば宜いが負けては困ります 新『負けても貴樣の恥になるやうな負方はいたさん、モウ餘程行つた時分か…… 典『イエ其程でもございません 新『然らば跡追駈けよう』と龜井新十郎草鞋も解かず其儘にして表へ飛出し、跡を追駈けましたが最早何方へ參つたか行方を知らず、殘念ながら立歸つて參りましたが後に太閤秀吉の御前に於て塚原卜傳龜井新十郎再會をいたし勇ましき立合をするといふ其れは此後のお話でございます。

名聲いよく高く 信用ますく厚き
高麗人蔘エキス
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房
支店 大阪市西區市岡町二七一 電話一九四八番 振替京城三七五三番

三月廿六日九星

舊二月十四日 壬申 本命 三碧 東 取 先負

▲三碧 浮沈くした事有日新事見合坤の方は吉 ▲四緑 大當りの日物居開業入費 厄介なる頼まれ事有日新事手控萬事は吉 ▲五 [illegible] ▲六白 苦嗟くする事有日新事手控萬事は吉 ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible]

●日本一 最上清酢 マルカン印

ミつぼし味噌

上醤油 龍 日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 定價十五錢 郵税二錢 京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

ツバメ齒磨 化學的純良なる

貴化病院 京城明治町一丁目 電話二四一番
內科 小兒科 入院隨意 每日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治

ルーデサック 男用一打四拾錢 特製六拾錢 女用一個七十錢 特製一個八十錢
有効保證 痳病梅毒專門藥
痳病梅毒自宅療法
京城永樂町二丁目 東京 ドラッグ商會

りん病七日藥
痳除 痳除はいやでも治る奇藥也
●慢性痳病●急性痳病●女子淋渦●膀胱加答兒●睾丸炎●尿道狹搾
痳除は實驗上の發明と化學的根本療法也 諸君時々再發百藥無効で困る時七日分服用せよ 說明書送呈す
大阪南區堺筋八幡筋北入 山口藥院
東京神田今川小路一の六 山口藥院

◎月やく
月やくとまり不順のため食物胸につかへ時々嘔吐を催し足腰下腹痛み逆上頭痛眩暈して何となく工合惡く心配の方は甚だ多く用ひても其効なき他の藥に迷はず私方へ返信料を添て申込あれ恐らく入助におり知らせす。
東京四谷傳馬町停留場前 森田屋

堅牢無比 パイン「學生號」萬年筆發賣 特價貳圓八十錢也
讀者諸君の御希望により技術最も優秀なる「パイン萬年筆」製作所に命じ特に製作せしめたる此「學生號」は「ペン」が小さいのと總ての粧飾を除き實用を專一とした爲に斯く廉價なのであります
▲「學生號」は「パイン」の長軸とも云ふべきもので外見は少しも違ひませぬ
▲同じ「十四金ペン」同じ最上の「エボナイト」軸で此の耐久力高價の萬年筆に少しも劣らず銀行、會社、學生間に益々喧傳されて居るのも此故に外ならざるのです
發賣元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 秘書部金口座 京城三三二番 一、四三三二、六一三 一〇六、一二六〇、一二六一 六一三
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、義州、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口
出張所 傳家甸、龍井村、鄭家屯
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

桃谷研究試驗所創製

白色美顏水

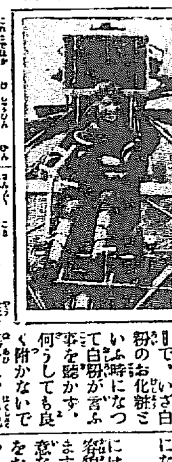
▲人氣ますく盛なる家庭の必要品

お化粧がよいかお顏の相が

一層お人柄になるもので御座います。反對にまた美しい方でありながら、何だか斯う好いたらしく思はれない方もあるものですが、それは多くの場合、御化粧の爲方―白粉を使つた御化粧なり、又白粉なしの素化粧なりの爲方―が宜しくないからで御座います。

白粉化粧と素化粧との

そこへ行くこ兩用を兼ねてゐるため益々人氣の集まつてゐる新化粧料白色美顏水を御常用なさる方々は誠に御安心なもので御座います。何故こ申しますれば白色美顏水は普通の水白粉こは違つて居りまして、桃谷研究試驗所で發見しました新しい美容成分で、それも非常に美容上の効果の強い、從來他の化粧品の原料には使はれた事の無い新成分こ



飛ぶ鳥の自由を羨ひ、空中の遊覽を喜びて六年前より飛行家さなれる米國ウス・ブウ孃。

美顏白粉で御承知の、或る特種の白粉こを土臺にして製へてある化粧料で御座いますから、白粉化粧に使つてお化粧工合の如何にも品よく美しく。お人柄を一層よくする事は言ふ迄もなく、今申しました美容成分はお顏の生地にも作用を致しますから。お化粧なしの素顏の時にも。肌理がよく色艶が美しく、何こも言へないお顏の綺麗さ。品のよさを發揮す樣になりますからで御座います。

殊に面白いのは

平生餘り白粉をお用ひにならない方や、お顏の生地の加減―肌理が荒いこか又は色が白い方でないこかいふ加減―で、いざ白粉のお化粧こいふ時になつて白粉が言ふ事を聽かず、何うしても良く附かないで散々お困りになる樣な場合に、白色美顏水でお化粧なさいますこ、それはくく波留に雜作なく、忽ち上品に美しいお化粧ができ上りますから妙です。ですから

お急ぎの時など

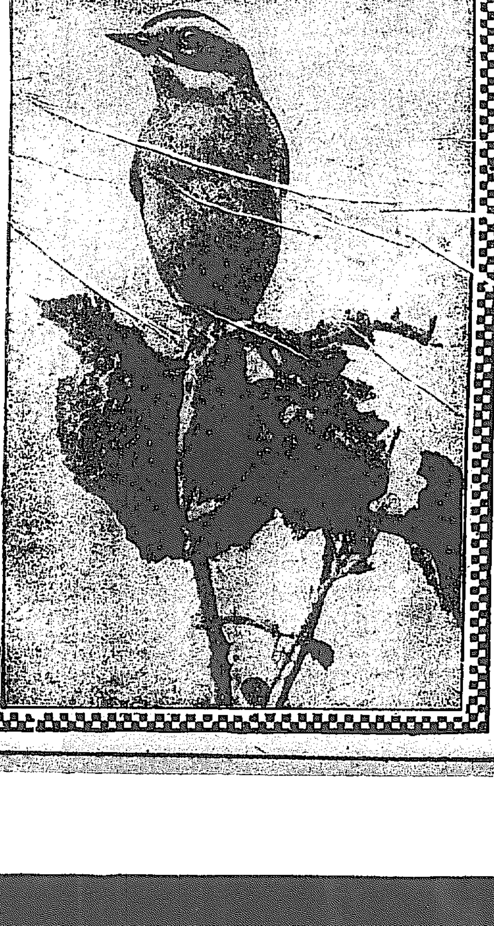
には至極重寶なものでございます。

艶やかなる女優生活より英國飛行隊附自動車運轉手さなれるシエイラ・スチスアルト孃。

斯く白粉化粧、素化粧、白粉馴れぬお顏、急な場の時など、それからお化粧の品の好さ、綺麗さなど、何處までの點から申しましても、實用的でそして高尚な化粧料で御座いますから、白色美顏水は心ある御家庭の必要品こして、益々賣行が盛になつて參ります。

時候の變り目

には吹出物やら何やらで。皮膚の美容貌の美が害され易いもので御座いますから、此際化粧料には殊に御注意なさいまして、よくく良いものをお選びになりますやうお薦め申し上げます。



汽車

京釜線（南行）	[illegible]
同（北行）	[illegible]
湖南線（南行）	[illegible]
同（北行）	[illegible]
京義線（北行）	[illegible]
同（南行）	[illegible]
兼二浦支線	[illegible]
京仁線（仁川行）	[illegible]
同（京城行）	[illegible]
京元線（北行）	[illegible]
同（南行）	[illegible]

京城日報

第五版

二十五日朝刊（朝夕刊と併せて八頁）

本紙定價　一ヶ月金五十五錢　▲一部金二錢　五錢以上郵税一錢　▲前金に限り一ヶ月分金四十錢　▲三ヶ月分金一圓二十錢　▲郵券代用は二割増

廣告料金　▲五號十五字詰一行八十錢　▲七字詰一行金四十錢　▲一行六十錢　▲三號十字詰一行一圓二十錢　▲六號廿字詰一行八十錢

發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話番號（編輯部三一四五番・營業部二二六番）　振替貯金口座京城二〇〇〇番

京城日報　米國の兵力

北米合衆國政府は、今年中に二百萬の兵を西部戰線に出すの目的を以て、目下其準備を急ぎつゝあり、來る四月一日を以て開始すべき第二回兵員徴募は、一擧八十萬を得べきのみなりと云へば、其所定の兵力を整備することは、決して難事にあらず。

只今日世人の懸念するところは米國政府は、此大軍を輸送し及び其供給を全くするだけの海上輸送力を有するや否やといふ一點にあり、昨夏英國政府當局者は、米國にして若し其百萬以上の兵員を西部戰線に出さむと欲せば、少くとも向ふ一箇年間に六百萬噸の船舶を製造せざるべからずと爲し、米國人中には、否、一年一千萬噸を製造せざるべからずと呼號せる者もこれ有りたれども、米國の造船力は所期の如く强大ならずして、最近當局者の言に依れば、新造船總噸數は本年春までに四百五十萬噸を製造し得べしと云ふ、乃ち當初の希望に照らすときは、聊か遺憾なしとせざれども、本來二百萬噸以上を製造するの能力なかりし米國が、四百五十萬噸を製造し得るに至れるは、非常なる大擴張にして、米國ならでは爲し得ざる所の業なり、且其の六百萬噸と曰ひ一千萬噸と曰ふも、畢竟敵の潛航艇の襲撃を極度まで見積り、其の損害を埋め合せて猶ほ大軍輸送大配給の自由あることを求むるものに外ならずして、若し敵の潛航艇襲撃を防止し得るの道あらば、味方の造船力は必ずしも彼が如く大なるを要せざるなり。

尤も今日の現狀を云はゞ、海上交通は未だ樂觀するを許さゞるなり、昨年三月以來、獨逸潛航艇の襲撃甚だ急にして、其の被害頻々、英吉利の大造船國を以てして、其の新たに製造する所は其の失ふ所を償ふに足らず、昨年末の計算に依れば、開戰當時に比して二百[illegible]十萬噸を減少したり、佛蘭西、伊太利及び中立國の船舶にして、難に遭へるものゝ亦甚だ多きや論なくして、今日は則ち船舶缺乏の程度を示すものと謂ふべく、英米兩國政府が和蘭と交渉談判を重ねて遂に其の協商國の港灣に在るところの和蘭船舶百萬噸を押收するとに決したるは、全く已を得ざるの處置なりとは云へ、其海上輸送力を增益すること亦多大なるべし、或は米國政府は、瑞典船舶の米國に在るものを徵發すべしと曰ひ、黑龍江に在るところの露國船艦を買入れたりと曰ふ、皆其の敵國の爲めに利用せらるゝを防止すると同時に、味方の制海權を確保するの益あり。

而して客冬以來、獨逸は西部戰線に於て大攻勢を取るべしと聲言すると數ばなれども、荏苒今日に至るも遂に進出の氣勢なく、最近に至りて却て窃かに一般的講和を促進する爲めに努力しつゝある形跡あり、蓋し獨逸は、露西亞羅馬尼と和を講じたれども、是等諸戰線の兵は昨秋既に他に移し遣りたるを以て、今日に及びて新たに西部戰線に增援すべきものは存在せず、且彼や今既に疲弊其極に達し、復た大攻勢を取るの實力なし、只英佛軍之を攻めざる爲めに、聊かに乘じて虛勢を張るものゝみ、蓋し米軍戰線に臨むに至らば、其運命や知るべく、彼の最近講和運動に汲々たるは、則ち米國の大軍未だ至らざるに先ちて、戰局を結ばむと欲するものに外ならず。

開戰後の哈爾賓貿易（三）

露留の戰時に於て漸落したるに從ひ高騰したるは支那紙幣なり換言すれば露留資本の減額したるに反し支那貨の資本は增加せりされば支那商人は此の自然的增資により上述の通過貿易を自己の掌中に收めたる外哈爾賓に於ける露國人經營の大會社及び大工場を主として製粉工場を買收し哈爾賓（傅家甸）に於ける自己の工場を擴張し松花江航行船舶の數を增加する等種々の方法を講じ自己の商權を開拓せり又支那諸銀行は支那貨の好調により資金の膨脹を誘致し紙幣の增發を行ふに至れり

哈爾賓は松花江流域の一大農産地を控ふる一大商業地として戰前及び開戰後暫くの間は地方農産物殊に大豆の輸出により商況殷賑を極めたるも一九一六年及び一九一七年に至り商勢頓に衰退せり是れ主として東清鐵道貨車の不足に歸因し即ち全線を通じ平時日に大豆平均百二十車乃至百五十車を發送せるにも拘らず一九一七年末の如き僅に一晝夜平均二十車を超ねざる有樣なり此の運勢は一九一六年に斷芽し一九一五年に於て浦鹽（エグリシエリッド）に對し二千五百三十萬布度大連に對し五百七十萬布度總計三千百萬布度の大豆を輸送せるもの一九一六年に至り浦鹽（エグリシエリッド）に向け千六百五十萬布度大連に向け三百六十萬布度總計二千十萬布度の大豆を輸出せるに過ぎずして一九一六年に於ける大豆の輸出は一九一五年に比し約千百萬布度即ち三割三分乃至三割五分の減退を示せり此の趨勢より推せば一九一七年に於ける大豆輸出數量は更に減少して千三百萬布度乃至千四百萬布度に過ぎざるべく遂には將來大豆貿易の全滅を見るに至るべし然れども一方哈爾賓（傅家甸を含む）に於ては戰後著しく勃興し此の種工場の設立せらるゝもの十五以上を數へ輸出し能はざる大豆の一部を引受けて之を製油し大豆輸出不能に伴ふ損失を補償しつゝあり大豆輸出數量の減少も亦大豆油輸出增加に基くものにして大豆油は一九一四年二百六十萬布度一九一五年三百五十萬布度一九一六年四百五十萬布度と漸次其の輸出を增加し而して製油業の先進地たる大連を經由して海外に輸出せられ現今哈爾賓諸製油場に於て搾出せらるゝ大豆油中海外に輸出せらるゝ三十萬布度にして其の餘は北滿地方の需要に供せらるゝ狀態なり

東清鐵道貨車の不足は獨り大豆の輸送を澁滯せしめたるのみならず一般穀類の輸出を困難ならしめ其の原因は汽罐車の缺乏就中東清鐵道會社より歐露に向け發送せる貨車の不着に歸するものなり

遊支偶錄　蘇峰生

（六三）新聞雜誌の勢力

支那に於ては、正議讜論よりも、寧ろ訛傳、流說を以て、有力なりと爲す。是れ輿論の理性に質だすよりも、寧ろ衆庶の迷信、若しくは、雷同性、彌次馬根性に訴ふるを以て也。何れにしても支那に於ては、口舌、文筆の力は、兵力に比すれば、假ば偉大なる働を爲す事、必らずしも蘇秦、張儀の時代のみに限らざる也。

處士橫議の風は、古今同一轍也。東漢末に於ける淸流の黨禍より、明末に於ける、東林の學派に至る迄、何れか皆な然らざる可き。吾人は支那に於ける言論の勢力は、從來日本のそれに比して、實に廣大無邊なるに驚かざるを得ず。諸君は舌を以て賊を擊ち、予は拳を以て擊つとは、如何にも痛快の言なれども、支那に於ては、十中の八九迄は、舌擊にして拳擊にあらざる也。要するに拳力よりも、舌力に有效なるが故にあらずや。舌力既に然らば、筆力亦た然らざるを得ず。

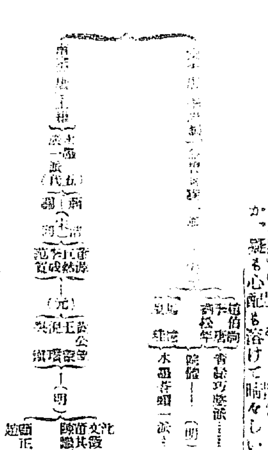
右の次第なれば、今後に於ける、新聞雜誌の勢力は、到底我が日本人の想像し能はざるものあらむ。今日の所にては、支那に於ける漢字新聞の總てを擧ぐるも、尚ほ未だ我が東京、大阪の一二新聞の紙數を凌駕するに至らず。されど其の勢力は今日と雖も、決して侮る可らず。況んや今後有力なる新聞出で來りて、支那を風靡するに於てをや。吾人は處士橫議の風が、一轉して新聞專制の時代となる可く豫期せざらんとするも能はず。若し支那にハースト、若しくはノースクリーフの如き人物出で來らん乎。彼等が北米合衆國に於けるが如く、英國に於けるが如く、否な恐らくはそれよりも、一層の大勢力を擁抑して、支那の人心を支配し、輿論を左右す可きは、逆睹するに難からざる也。

宋以後の繪畫（五）

於京城倶樂部　今關天彭氏談

要するに清代の畫は明末から引續いた南畫即ち吳派を四王吳惲が大成した、これが康熙時代である。乾隆となると漸次變化の狀態著しく、明末よりする畫風の筆意氣力を主とするのに反して、今度は印象を主とする方面に向つて進み目ぼしい大家のないのに拘はらず、いろ〳〵の人が輩出していろ〳〵の趣味ある畫風を發いた。これがナカ〳〵面白い。嘉慶道光となると王麓臺から出る素人の畫家たやうな畫風が流行したがこれには極て洒脫の趣味が浮んで居る。咸豐同治となると內亂外訌これ日も足らずであるから、力の籠つたしかも悲壯な畫調が見らる。清末となつては、これと云ふ事もなく、たゞ衰亡して行く有樣であるが、この頃となつては、東洋畫が西洋人に知られて來たので、藝術に關する研究が流行すると共に、東洋畫の出版物が多くなつて來た。何か此の方面も、來る時代には一生面を開く事と思ふのである。序に唐以來の山水流派系統を圖に現はして諸君の參考に供することゝする。

山水流派系統



▲正誤　二十三日所載第三段中の商古游絲描は高古游絲描の誤、同段「常に君法で畫を畫きは、常に畫法で畫を畫きの誤、同段趙子昂の別號は、趙子昂の外孫の誤、同段簡淡商大は、簡淡商古の誤、第四段一、吳派の一行を脫す、第六段中の六季四大字は、元季の四大家の誤

詩壇

朝鮮統治頌　大垣　金陵

春畝蒙扶漢宮、一視同仁待諸公、西湖溫顏迎民意、質踐躬行有始終、持看威光覃闡外、魯庭喝破成獲空、浩堂敦厚貢君命、王化涌漲草偃風、

評曰、序列正副統監及二總督、風姿政策、月旦得宜、君在鮮二十餘年、官情民意、瞭然于胸底、磊落之心、精緻之思、發作此五十六字、後日編朝鮮史者、宜揭于其卷頭也、

牧馬圖　江原　如水

朔北曾經幾戰場、金鞍當日捧君王、虎文未照貝湖月、驊種欲凌烏薊霜、勇似公孫避長史、情如換妓慕曹郎、邊塞頻報露都急、時看同槽櫪奮創、

評曰、隱憂紆鬱、借馬而發露、奇古蒼涼、老辣可喜、

述懷東請洲將軍　大久保曉香

悵然自悲同朽蒿、良工難畫奈離遭、欲隨天分盡其用、何擬蘢緣樹高、濆池論屈選辛艱、老矣常嘆凡介曲、意氣日憐消未盡、風雲一夜夢龍出、

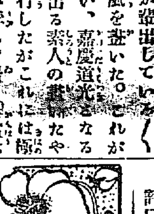
評曰、感慨激昂、一讀唾壺爲碎、

探梅　淺野　棟雲

幽溪殘雪未消時、吟杖過逢春色遲、一脈寒香來撲鼻、佇徊人立斷橋涯、

評曰、幽靜、

錺（かざり）　布施生譯



二十八

初心らしく顏を赤らめながら心配さうに尋ねる織衛の顏を見て嘲笑つた學士は默つて呼鈴を鳴らし仲働を呼んで何か小聲で吩咐けた、仲働が引下ると飛んで來た町子の姿、織衛は見るなり莞爾つて人目も憚からず抱合つた。

抱合つて餘念もない二人の樣子を見ると窓井學士はもう織衛の純潔に疑ふ所はないと確信した、然し其の爲めに差迫つた心配を忘れるのは抑も罪のある人に出來る業だらうか、疑も心配も溶けて晴々しい三人の顏、それを窓の隙から差入つた朝日が暖く照した。

しかしさうして喜ぶ間は短かつた、程もなく這入つてきた出獄は『もう御聽取は濟みましたか』と言ひながら容赦もなく織衛を引立てた。呆然として夢から叩起されたやうな町子、學士はもう何が何でも織衛を救はねばならぬと決心した、決心はしても其れは容易な業では無かつた。織衛の白狀一切を總督の處へ知らせればよいがさうすれば罪地の罪が明白になるにつれて死んだ罪地の靈は浚かれぬ、證據は掘出されて法の通り新らしく處刑になるに相違ない、それを護ひたさに織衛は自分の生命にかけて一切法廷で口を噤んでゐるのではないか、學士は處置に困つたが兎に角之は裁判官の心を柔らげるが何よりと思付いて机に向ふと其儘得意の筆を揮つて特別裁判所長禮備宛に長い〳〵手紙を書いた極力、織衛を辯護して之なら如何な石のやうに頑い心でも動かずには置くまいと思つたがそれは學士がまだ禮備といふ人間を充分に知らないからであつた、二時間を經たぬ中に返事が來たがそれには皮肉な筆で先づ前夜の骨折を謝した上、織衛に愛想をつかされず愈々冤罪を信じて辯護の勞を取つてやらうとの思召は感服の外はございませぬ、しかし事實が明白にならない辯護は私共に取つて何の効力もございません、若し貴女が當人の白狀を私共にお傳へ下さらず何時までも當法廷で白狀を拒むならば當法廷では是非なく適當と認める手段を採らせます、何時までも當人の機嫌をとつて便々と延ばしておく事は出來ませぬからと云ふ返事であつた、讀畢ると窓井學士は大きに狼狽た、見す〳〵冤罪ある織衛を容捨もない拷問などに遭はせるのは可哀さうだ、それかとて當人は死んでも白狀する氣遣はなし自分の口から打明けるわけにもゆかず、思案に餘つて學士は誰か誠實な辯護士の助を借らうと思付いた

當時巴里全體を見渡して學識もあり人柄も誠實で一番依倚になるのは小久保辯護士の外にない、學士は早速車を走らせて辯護士を訪ね一伍一什を話して助を求めると辯護士は聞畢つて徐に紙を展べ筆を採つて『謎らしい謎、謎らしい謎』と古い諺を書いて示しながら『どうもお話しの樣子では禮備氏の處置が至當でそれに對して苦情を申込む次第には參りません、假にも私が當人の辯護を擔當致しましたにしろ此の場合拷問をやめさせる手段は有りません、さうするには本人が假令一部分でも可いから裁判所で白狀するか、で無ければ當の下手人を探出して本人の無罪を事實で證明するばかりです』。學士は落膽して『それでは正面からは到底駄目でございましやうか、そんなら是非がございませんから寧そ陛下へお直訴を』言ひかけると小久保辯護士はそれを押止めて『いや、それは先づお見合せが宜うございましやう、直訴は最後の手段です、それで失敗すればもう取返しがつきません、いくら國王でも國民の意志に逆つて行動する事は出來ませんから國民が殺人鬼師近殺しの大罪人と認めて憎惡の的にしてゐる者をおいそれと一片の命令で特赦する事は出來かねます特赦には又特赦する丈の理由が無ければならぬのが唯今の處では其理由が不足です、之はどうしても何か別の方法を考へる外はない、宜しい私も至急研究致しますから貴女も何分お考を願ひたい』かう言はれて學士は成程さうかとも思はれて見れば途方にくれながら家へ歸つた。

[illegible]て其割合は西貢米の七割臺灣米の三割見當にして既に輸入せる額た[illegible]せらる居る船腹に關しては該買付米の輸送に對しては殆んど配船せらる可き模樣にして約一萬二千餘噸のみに對して船腹の調[illegible]にして買付値段は西貢米は百斤六圓五十錢より七圓六十錢見當までにして即ち之が石建きにて橫濱沖著相場に換算し輸入稅の一圓五十錢見當の割合に[illegible]二十圓六十錢より二十一圓八十錢までにて買付けられたるもの也而して目下の沖濱値段を觀るに西貢[illegible]量に制限を加へて南洋方面に對しても輸出を特許するに至りたるが爲め產地相場の騰貴したるのみな[illegible]の激騰せる結果にして即ち百斤一圓七十五錢換みの運賃は今や暴騰して三圓二十五錢即ち石に六圓五十錢見當となりたる也而して試み[illegible]而して右の如く我市中相場は稅込みとしての西貢米沖著値よりは一圓九十錢方も安値にして關貢に於[illegible]

◎蘭船抑留實行

三井物產支店入電に依れば目下香港に抑留中の和蘭汽船はプリンセスジユリアナ、チボダス、ボーロ、[illegible]府は該港にある蘭船全部を抑留せるが桑港碇泊の蘭船に對しては再度同港に入港すべき條件の下に其出港を許可されオレンヂ號は十

生徒募集　本科五十名　專修科五十名　隨意科三十名　右至急募集す　大正七年三月十四日　京城三角町九一（朝鮮商業銀行後）　私立　實修裁縫學舍

菊と朝顏　栽培法　入用方は郵券貳錢御送附を願ふ　大阪東區淀屋橋道修町　朝顏菊專門　細井秋好園

北海材荷着案内　一臨地、栓、楢、櫻、桂、朽、　一栓板機械挽（厚一寸二分五厘以上巾三尺迄）　京城黃金町一丁目　相洋家具材　クロ脚村　本明雜木店　電話三一七五番

新學期　會員募集　東京高等工業學校教官講義

機械講義　機械工場、船舶、鑛山等に從事する技術者は勿論製圖家職工の良參考也　一年卒業・會費一ヶ月四十錢

電氣工學　主任技術者四五級程度にて受驗科目を網羅す平易にて電業者に適切也　一年卒業・會費一ヶ月五十錢

建築講義　日本、西洋家屋構造法規仕樣等大工請負業者の徒弟に必要の科目也　一年卒業・會費一ヶ月四十錢

應用化學　有機無機製造工業分析化學機械何れも時世の要求に應じたる講義也　一年半卒業・會費一ヶ月四十五錢

まづ希望の見本を見よ！　東京小石川表町振替東京六一八〇　大日本工業學會

家庭雜誌　四月號　定價金十三錢　郵稅一錢　東京本町　博文館

◆今日主義の處世法……末延道成　◆脚下を見ぬ日本人……[illegible]太郎　◎物價騰貴と家庭經濟……（貫）　◎當世師弟物語（山脇、鳩山、小島、高島、四先生）　□婦人健康增進法（名家三氏之講）　特別記事　◆新式四季の裁法……井上松野子　◆現代婦人の作法……手塚かね子　◆小說　紐鏡（悲哀の淚さ……運命の血さ）……北島春石　◆良人の感化（同職業にて新生涯に入る）……てる子　つる子

鑛山用麻袋　新古麻袋麻絲小麥粉袋製造商　門司市外大里　精出勉勵可仕候條御注文願上候　合資會社石川商店出張所

長篇小說　靈鐘　小杉天外作（白金御殿の卷）　○第一卷『白い手』の貴公子と其從者は其後消すやうに行方不明となつてゐたが其れが俄に白金御殿の卷に現はれて來た太つた赤ら顏の從者桑原文太郎は白金御殿の名ある笹丸家の庭で今まで『炭屋の小僧』として此家から扱はれてゐる森夫にめぐり逢つた笹丸家には後繼問題について何か悶着が纏れて居る一波萬波を生ずる事件の一大發展本卷に活躍す

四月號　婦人世界

修養・教育・食物・衣服・娛樂・衛生

△脅かされたる生活……[illegible]　△女學校の新卒業生へ……山脇房子　△宗教道者の煩悶婦人……新渡戸氏　△醜婦の偕樂み……下田歌子　△子供の試驗前に母親の注意……後閑　△早教育の可否如何……乙竹岩造　△盲啞聾三揃ひの子供教育……岸邊　△子供の玩具遊戲の研究……脇たけ子　△新鮮品を安價な西洋市場……服部　△牛豚肉に劣らぬ馬肉の効用……澄田　△上品で美味な馬肉料理七種……記者　△腐つた物を常食とする人（懸賞）　△安價で滋養な豆腐料理……弦齋夫人　△一人前三十錢で子供誕生祝の獻立　△古洋服で子供服を作る工夫……千野　△解き物から洗濯張までの手順　△不斷着と晴着の新調しの研究　△春の髮飾と草履……幽閑子　△親そして髮を結ぶ稽古……鈴木久子　△隱れたる櫻の名所（懸賞當選）　△春を蒔く草花……大矢好治　△蜜蜂を飼ふ家を訪ふ記……婦人記者　△新案の室內競技……遊紅子　△初期の肺病は必ず全治す決して心配すべからず……近藤醫學博士　△肺病に奇効ありといふザリ蟹の希望者へ申上げます……一記者

家庭小說　小松島　村井弦齋　再會　神戸の銀野家を抜け出た小夜子は淵川へでも身を投げたかと想はれたが丹波の尼寺で尼となり四年の後今は松島灣の離れ島に庵寺を守つて居る、其處へ勇が尋ねて來た

婦人世界三月號再刊　健全育兒號　價貳拾錢郵稅壹錢五厘　大好評

果樹觀賞植物　大割引　解說付目錄進呈　兵庫縣川邊郡長尾村　精華園販賣部

支那の形勢

▲段氏國務總理任命 新内閣の顔觸れ未だ決定せず

段祺瑞氏は二十三日總統令にて國務總理に任命されたり 新内閣の顔觸れは總理の選定に依る可く猶不明なるも近く上京する梁士詒氏が財政總長に任ぜらる可きは確定的なる如し(北京特電)

▲段氏就任正式承諾

行懸中の内閣問題は馮總統が全然從來の態度を一變し誠心誠意段祺瑞氏を迎へ實際的責任内閣を組織し決して掣肘せざる旨を保證せる結果段氏も承諾の意を表はし徐世昌氏が馮總統の依賴を受け更に勸誘せる結果遂に正式に就任を承諾するに至れるなり(北京特電)

▲内閣總辭職 段氏總理任命經緯

廿三日某閣員に宛て倪嗣沖氏外三名の各督軍より段祺瑞氏を總理に任命する樣馮總統に要求され度しと打電し來れるを以て二十四日直に閣議を開き此要求を議題として協議せるが閣員の意見は何れも此要求に贊成なるに一決し代理總理錢能訓氏は閣員を代表し馮總統に謁見し閣議の結果を報告し總統の決心を促したり其結果馮總統も是れを容れ多分二十四日の夜段祺瑞を總理に任命する旨を發表し是れと同時に現内閣員は總辭職を爲すに決し既に辭表を提出せり(北京特電)

▲南京の交通遮斷

滬寧鐵道は二十一日より上海行乘客を差止めたる爲め南京は水陸共交通を遮斷されたり南京鎭江間の長江汽船も航行を停止されたり(上海特電)

▲廣東軍岳州入城

南軍は十七日再び岳州を回復し廣東軍の兵再び入城したる旨譚總司令より各國領事に通知し來れり(上海特電)

獨逸東漸と極東

▲露米協約締結計畫

米國より財政的援助を仰がん爲め過激派政府は露米協約を締結す可く目下考慮中なるが右は露國より鐵道を米國に讓り渡し是れが代償として米國の財政的援助を仰ぎ以て露國の資源を得んとするにあり(倫敦電報)

▲俘虜武裝と視察

在支公使團は西伯利亞に於ける俘虜武裝の眞僞を確む可く視察員を派遣せり(北京特電)

▲ブ市秩序回復す

ブラゴエチエンスクの過激派は日本側に對し同市は勞兵會の力に依り最早秩序回復され市中平穩に歸せるを以て黑河に避難せる日本人は速にブラゴエチエンスクに歸り安んじて從來の職業に就かん事を希望し又日本人及び一般外國人の生命財産保護の任に當る旨通告し來れり(哈爾賓特電)

◎猛烈なる砲擊戰

英國總司令部附ロイテル通信員は二十一日電報を發して曰く『敵は多數の砲列より我前線に對し猛烈なる砲擊を行ひたる後大規模の歩兵突擊を行へり、敵兵は煙幕の援護の下に逆浪の如く殺到しラグニクールの北よりガエシンリンに亘る我が前線に到來しスカルペカワとヴエデイユの間にある數個の地點を突破せる如し、サンカンタン方面の砲戰は殊に猛烈を極めたるが敵の目的はフレクエレ突出陣地の兩側に對し猛擊を加へ是れを遮斷せんとするにある如し(倫敦電報)

◎敵全線砲擊開始

ヘーグ元帥公報に曰く二十一日未明敵はサン、カンタンの南ヴアンヂユー附近よりスカルプ側に至る全線に沿ひ激烈なる砲擊を開始せり(倫敦電報)

◎獨最初の大攻勢

廿一日夜英國藏相ボナーロー氏は下院に於て述べて曰く『獨軍の攻擊はワスカルプ河よりオアズ河に至る五十哩以上の戰線に行はれたり右は大戰開始以來初めて獨軍の行ひし大攻勢なり尚英軍は豫期の如く守戰地帶迄退却せり』と(倫敦電報)

◎獨逸宰相演說 講和條約說明

十八日伯林電報對露平和條約第一讀會に於て爲したる獨逸宰相演說要領左の如し

一、露國は三月十六日平和條約を批准したりウイルソンは莫斯科大會に同情の電報を送りしが吾人も露國人民が專制政府を倒し自由を獲得せんとする正當の希望を妨害する意志更になし吾人は露國が速に安寧秩序を恢復せん事を希望するも其時期の到來は遺憾ながら急にはあらざるべし平和條約は露國に取り屈辱的なる何ものをも包含せず獨逸は軍費を要求せず又暴力に依る土地併合をも要求せざるなり

二、クルーランドの自治は最迅速に之れを認めたり但し最後の決定は他日に保留したり

三、リスアニヤも獨逸に接近する爲め近日再び委員を派遣する筈也

四、リボニヤ、エストニヤに關しては同地方の秩序恢復を待ち自由に政治上の方向を決定せしむべし

五、波蘭に關しては一九一六年十一月五日の布告あるを以て條約には掲載せず波蘭の前途の詳細は獨墺側と同國間に何ほ協議を要す

六、羅馬尼との平和條約も不日既成事實となる可きを以て東方一帶に平和は恢復せらるべし

七、然れども世界平和は未だ恢復に至らず聯合側は毫も戰爭終了の意志を示さゞるを以て吾人は勇氣を失ふ可からず吾人は尚今後大犧牲を覺悟するを要す

八、今日迄吾人を助けたる神は今後も吾人を護り給ふべし吾人は正義絶倫なる軍隊、卓越せる指揮官及び不撓不屈の國民に信賴す而して今後何ほ流血の責任は一に聯合側に歸すべし(ベルン發二十一日 某所著電=東京)

□伏見宮御召

二十三日午後五時 聖上陛下には伏見宮貞愛親王殿下を御召あり殿下は直に參内種々動問に奉答し晩餐を賜はり御陪食ありたるが傳承する處に依れば其御席には大臣、侍從長も侍せず當番侍從のみ奉伺したるのみなりと(東京特電)

◎市場問題と各地市場狀況(三)

▲内地市場狀況

内地に於ては未だ公共機關により經營せらるゝ公設市場の例に乏しく多くは徳川時代に發生したる市場の推移して今日に至れるものにして俄に變更を加ふること能はざる事情あり當局は極力其の整理に焦心せるも舊來の弊害は絶滅するを得ず東京商業會議所の時局調査會は今春調査事項を第一部及び第二部に區別し其の第一部は專ら公設質屋、市場問題租税問題を調査する事とし不取敢市場問題を以て緊急の事なりとし頻りに之れが研究を進めつゝあるものゝ如し若し其等研究の結果を發表するに於ては吾人の益する所蓋し僅少ならざるべし

▲大阪の市場

大阪は經濟上内地の中心點なり市場の如きも最も盛大を極め現在食料品市場のみにても其數二十三、皆相當の經營に係り居れり、就中天滿市場は古き歴史を有し個人又は組合會社等の經營に係り居れり坪數約五千坪南北兩側二十一棟の場屋を有し建築は棧橋式鐵筋コンクリート上部は木造瓦葺の家建にして問屋四十軒仲買百五十軒を以つて組織し一箇年の取扱高約三百五十萬圓に上る、雜喉場市場は問屋八十四軒敷地千三百六十坪年取扱高四百六十萬圓、建築樣式は木造家建にして坪百圓位にて專ら生魚を取扱ひ乾魚取扱商人は分離して阿波座に移轉獨立せり年取引額三十萬圓に垂んとす

▲名古屋市場

名古屋には有力なる市場五六あり現在最も大なるは明治四十三年に設立されたる中央市場株式會社の經營する中央市場にして資本金三十萬圓を以て青果物魚鳥品の委託買賣及び糶買賣並に附屬建物店舗の設置賃貸倉庫運送業を營み果物問屋十三名魚鳥問屋八名に對して市場建物を貸與し使用料を徵收し他に小賣市場を設けて賃料金を徵しつゝあり日々の取引高は青果物三千圓餘魚鳥二千三百圓餘を下らず(京城商業會議所調査)

▲奉天市場

奉天滿洲市場株式會社は資本金四十萬圓を以て昨年九月設立奨の奉天市場會社の財産及び業務一切を繼承し最新式の模範的小賣店四十戸を新築し市場の内外海陸の産物を取扱ひ居れり市場は純然たる法人組織にして内部の關係に於ては殆ど滿鐵會社の經營に係り此點より見る時は又一の公設市場と見るも不可なきに似たり

◎鮮牛移入計畫

大阪府下泉北郡地方にては這回橫航路を利用し鮮牛の移入を計畫し諸般の調査其他の爲め同郡村長島田利三郎氏並に太田純次氏は元山に來りたりと

◎阪谷男一行

北行せる阪谷男爵一行九名及隨行の實業家二名は對馬丸にて廿四日夜釜山着釜山驛ホテルにて休憩同十一時發にて北行せるが官民の送迎盛んなりき(釜山特電)

◎北島博士入京

支那ペスト視察中なりし北島醫學博士は歸東の途次二十四日夜入京朝鮮ホテルに投せり

◎永興咸興自動車

永興咸興間乘合自動車は愈々四月一日より營業開始の由にて目下盛に道路の手入中なるが自動車は最新式のものにて一時間四十哩の速力なる爲め特に三時間を當てある由にて時間の正確運轉の安全を期する由なり永興發は午前六時、午前十一時の二回咸興着は午前九時午後六時の二回にて何れも元山行列車に接續し尚貨客の都合に依り不定期に運轉する事あるに付咸興方面の旅行者の爲め頗る便利たるべし

◎木浦商議豫算

木浦會議所の七年度豫算は二十一日午後七時より評議員會に附議し滿場一致を以て可決したるが歳入出共五千五百九十一圓にして前年度に比し六百六十六圓の增加を示せり、而して歳入に於ては賦課金に六百七十二圓を增し歳出は所費に六百三圓を增加したるを其の主要とす

人事消息

▲氏原佐藏氏(内務省技師) 廿四日入京朝鮮ホテルへ ▲貝瀬謹吾氏(滿鐵營業課長)同上 ▲河野駒四郎氏(愛媛縣製品同業組合長)同上 ▲床次竹二郎氏(?)(京都帝大專門教授)同上 ▲王金近氏(安東電燈課長)同上 ▲佐藤尾七氏 長野縣上田産業株式會社常務取締役 廿四日夜入京浦尾へ

▲百鬼百癪▼

近頃滿鐵列車には支那人の掏摸が多く遼陽と營口、商店の間は最も此の被害が多いと注意すべき事である▲近頃青島からの便によれば同地の開業醫は一時十四人あつたが何れも經營難の爲め現在では十一人に減つたさうである▲それといふのが官立病院が二つも出來た爲めであつて夫れに銀相場の暴騰も手傳つて家賃の如き五十圓位のものが七十圓も拂はなければならず例令日十何圓の收入があるにしても其中には月末に貰へぬ口もあつて其儘懸けられたりする分もあるので勞々四苦八苦の狀態である處へ又た藥價が斯んなに騰る一方なので青島の御醫者は何れも青息吐息の始末である▲青島と云へば同地では近頃濟南の肺ペストの影響を受けて汽車の交通に遮斷を來すので生魚の値段が非常に騰つて鯛一尾が十五錢もするさうである▲鈴木商店の長崎英造氏曰く『朝鮮のパルプは立派なものが出來ます併し肝腎の葦が少いものですからね私の方で蘆の栽培からやる積りで農學士を二名程やつてありますが何れ十年も經たら物になる積です』と

◎玄關と勝手口 鴨江の育める兩都の活況

朝鮮の勝手口たる新義州と、滿洲の玄關たる安東縣の活況は、客年來屢々紙上に報道された、記者は、何時かは機會を得て、是非鴨緑江の育める兩都を訪ひ、其の更に接近し行く樣を見屆けたいと思ひ居たるに、[illegible]、今回社命を受けて兩都の間に留まること二晝二夜、[illegible]、見聞のまゝを叙するのである(野都)

先づ日支兩國の間に架渡せる鐵橋の上に立つ、古代民族の支那から半島へ進入したる徑路は、此大河に沿ふて溯上し、而して南下したもので、其時代では鴨緑江を浿江と呼むで居た、浿江とは大河の意味である、未知未見の地を探險して發見した山や河乃至島や港に發見者の

▽名を冠せて 其名を永久に留めんなどの智慧も名譽心も古代民は有たなかつた、夫れから段々南漸して大同江畔に達し、矢張り浿江即ち大河とのみ稱へて居た、其中に人文進み、河に命名する時代が來て、浿江の名は南下した族が最も永く留まつて居た大同江の古名のやうになつて了つた、臨津江なども、浿江で稱された時代もあるらしい、乃で浿江の本家筋をしたら朝鮮では鴨緑江が夫れであると、誰からか聞いたことを思出す、幾十百年代を經て江畔一帶の大市場たる

▽安東の市街 が出現し滿洲に對する朝鮮の玄關口が出來た之に對して朝鮮側では新義州が滿洲よりする玄關とあるべきだが鮮滿兩地の眞唯中に立ちて八方睨みをやると、どうも新義州は朝鮮の勝手口らしく見ゆる、何故なれば、安東の市街は江に面して建てられ、新義州は背を向けて居るからだ、之れは地勢と位置の關係で止むを得ないかも知れぬ、南は江に枕み、北は鎭江山、元寶山に擁せられたる安東は自然南向きになる譯で、新義州は江を渡つて來る朔北の風を眞正面に受けるを嫌つて

▽後を向けて 居るのであらう、昨今安東縣側は此の大路を閉したる堅氷解け萬帆片帆風を孕むで溯上して來るのに新義州側は氷塊累々たる有樣であるし、殊に新義州側は船着きも好くないらしい、恁ういふ風に自然の寵幸が薄くては新義州たるもの多少僻まざるを得まい、生の母たる鴨緑江に拗ねるのも大に恕すべき點があるけれども、新義州も親の恩を忘れるものではない、成長につれて親の機嫌をとりつくろふのは、子たるものゝ務であることゝ知つて居る

▽親の光りは 七光り、つまり能ふ限り鴨緑江を利用せねばならぬ、自然は安東縣の方に厚いとしても、世情は日本の領土たる新義州に利がある、安東縣が日に繁榮を增すのを、指を啣へて眺めて居るのは、磁子根性で無ければ意氣地無しといふべきだが、新義州は奮起した、而して頃來目醒しき殷盛を加ふるに至つた、安東縣は又安東縣で更に益々發展して行く、さらば兩都の產業經濟から市勢の現狀を叙して見よう。

公州

▲學校會 公州公立尋常高等小學校にては二十一日午前十時より學校會を開き[illegible]

▲官會議 公州公で上林長官は來る四月下旬道長官會議の開會を機とし主なる地主を召集し地主會議を開くべく目[illegible]

[illegible]すると同時に郡畜産技術員を增員して畜産業の發展を圖るしと▲[illegible]公州市街の中央に架[illegible]竣工を見るべしと

▲憲警署長會議 忠南警務部にては來る四月十八日[illegible]憲兵隊長及び警察署長會議[illegible]

[illegible]が動力の供給は東京臺附近豆滿江の水流を利用し水力電氣の設置を[illegible]せんとする計畫なるが之れと同[illegible]とする設計は殆んど價値なきもの[illegible]に移はり同水力電氣が同國境方面の動力供給に齎らす効果は偉大[illegible]

[illegible]側公定料たるは四十二志半(之が現下の換算十九圓餘)に對し社外船主側重量一噸當り二十七圓五十[illegible]致に申合せたれば我が政府も之に[illegible]重量一噸當り二百弗(四百圓)には準據せず大體本邦の常規に則りて各船舶の見積時價に比し幾分の割引を爲したる價格を以て保險金額[illegible]

◎暴風警報 (二十四日午後九時發) ▲警戒 風雨強かるべし▲氣壓位置 渤海灣七四六耗▲方位 東北東▲警戒區域 平安南北道沿岸及内陸

明治生命保險株式會社 第三十七回報告

(自大正六年一月一日 至大正六年十二月三十一日)

株金 五十萬圓

諸準備金 二千三百六十四萬五千八百七十一圓廿一錢六厘

内保險料式責任準備金 一千七百六十二萬一千二百五十八圓五十七錢一厘

保險金 一億一千八百八十七萬八千四百三十四圓

貸借對照表

資産	
現金	四六六、一六八
郵便振替貯金	六、〇四〇、二六四
銀行預金	五、一一八、一八六、四七〇
所得税過納金	二三、六二〇、八五〇
貸付金	三、八一四、一四八、〇〇〇
有價證券	一四、二六三、六七〇、〇〇〇
不動産	五五四、七五八、七〇〇
本店修繕費勘定	一六、一四三、九七〇
札幌出張所建築勘定	一、八九〇、〇〇〇
什器	六四九、三五〇
代理店貸	三五二、四八八、三四九
合計	二四、一五二、〇六二、一二八

負債	
株金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
法定準備金	一二五、〇〇〇、〇〇〇
責任準備金	一七、六二一、二五八、五七一
特別責任準備金	二三一、三六五、一九〇
新約款利益分配準備金	五五九、八九五、九四八
支拂備金	一九、一〇〇、〇〇〇
使用人養老積金	一三四、六六一、八七三
使用人預り金	一七二、三七八、六〇三
代理店借	五、〇九七、四二七
假收入	一、〇九三、三八五
本年度剩餘金	四、七八二、二一一、一二四
合計	二四、一五二、〇六二、一二八

損益計算書

收入	
前年度繰越準備金	一六、三三二、七四二、五五二
保險料	四、一七〇、三四八、六六六
使用人養老積金繰入	四、四七五、〇〇〇
保險料收入	四、八二六、二九五、九五七
雜收入	三、九〇七、〇四五
利息	一、四五五、九二七、一四五
有價證券賣却益	二三〇、一九五、〇〇〇
合計	二六、九一三、八九一、三六五

支出	
保險金	一、六六一、七六〇、〇〇〇
解約返戻金	二一八、六七二、一一四
其他返戻金	一、三二七、八九八
新約款利益分配金	三三三、八七一、〇八〇
税金	一三三、〇〇四、一五〇
事業費	一、二〇〇、三八〇、二九〇
財産評價損	六、五〇〇、〇〇〇
阿部氏贈金	二五〇、〇〇〇、〇〇〇
使用人養老積金	四、四七五、〇〇〇
責任準備金	一七、六二一、二五八、五七一
特別責任準備金	二三一、三六五、一九〇
新約款利益分配準備金	五五九、八九五、九四八
支拂備金	一九、一〇〇、〇〇〇
合計	二二、一三一、六八〇、二四一

前年度迄ノ剩餘準備積立金及本年度剩餘金 四、七八二、二一一、一二四

之ヲ處分スル事左ノ如シ

株主配當金	七五、〇〇〇、〇〇〇
特別準備金	三、五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
役員賞與金	一三、四〇〇、〇〇〇
使用人養老積金	一五〇、〇〇〇、〇〇〇
新約款利益分配附保險契約人ヘノ分配金	三七一、三〇八、二七〇
株主臨時配當金	一二五、〇〇〇、〇〇〇
役員臨時賞與金	二〇、〇〇〇、〇〇〇
使用人臨時賞與金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
次年度繰越金	四二七、五〇二、八五四

右之通相違無之候也

大正七年二月二十七日

明治生命保險株式會社

取締役會長 莊田平五郎
常務取締役 藤田譲
取締役 阿部泰藏
取締役 末延道成
取締役 本山彦一
取締役 三村君平
監査役 草郷清四郎
監査役 戸波親信

會社ノ營業及財産ヲ調査シ前記ノ通リ相違無之ト相認候也

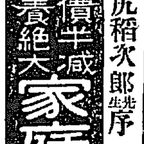
取締役ノ半數改選ノ處莊田平五郎、藤田譲、阿部泰藏ノ三氏重任シタリ

右公告ス

京城黄金町二丁目百六十三番地
明治生命保險株式會社出張所
所長 中村暉

會計検査院長法學博士子爵田尻稻次郎先生序 陸軍糧秣本廠嘱託田邊玄平先生著

忽四版



米價半減 滋養絶大 家庭パン製法

◎七博士推薦(一名日本一安價生活法)

▲本書は田尻博士創案の玄米パン其の他を極めて御手輕に[illegible]

發行所 東京神田表猿樂町十三番地 大日本食料品研究所 振替口座東京三七一二五番

◎此際購讀者に限り[illegible] 一冊金四十錢郵税四錢

櫻印

學校用机 學校用黑板 西洋家具

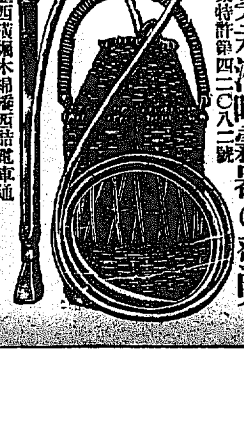
取次販賣店募集

朝鮮龍山 松工作所

◎衛生蠶業園藝界の福音

理想的昇汞液噴霧器の發明 新案特許第四二〇八二號

本器は今回農商務省蠶業試驗所に於て試驗の結果最優良なる事を認められ各地原蠶種製造所其他へ御推薦の榮を得たり



大阪市西區西横堀木綿橋西詰電車通

二重瓶消火器株式會社

電話長西二一八五番 西三一八五番 振替口座大阪四〇八四番

學生カバン大賣出

數十種全部新荷

低價!低價!低價

今年は是非弊店で……

旅行具專門 岩田鞄店

京城本町二 電話五九四

時は今

京城

朝鮮勸農株式會社

販賣部 電話四〇三番
本社 電話三六八番
振替口座京城三七八番

營業案内ハ御申越次第送呈可仕候

肥料 農具 蠶具 種苗

謹告

一金五百圓也

右ハ大正六年七月中亡被保險者都甲カメ儀蓬萊生命保險相互會社ト契約致居候處過日死去候ニ就テハ同社大田代理店岡藤太郎氏ヲ經テ頭書ノ金額確ニ領收仕候間此段契約者各位ニ謹告候也

大正七年三月十二日

朝鮮忠南大田春日町一丁目

保險金受領人 都甲荒吉

◆柳煙る　—淸凉里にて—

ハリス博士に記念館

◆森村男等の知己より贈呈◆

老ひたる聖き父の大なる功勞に酬ゆべく靑山學院内の校庭に新築

日本及び日本人の爲めてふ信念を以て明治六年來朝以來專意其奮き生涯を終始し客年任期滿ちて監督の重職を退きたる所謂我日本の無私にして耐久の友ハリス博士エム、シー、ハリス氏の爲今回氏の知己森村市左衛門男、藤原俊雄、米山梅吉、大倉孫兵衛、大倉文治の五氏發起となり

△老齡孤影　何の恙にする所なき博士の洒脫なる餘生を樂ましむべく想ひ出多き靑山學院内の校庭をトし茲に記念洋館を新築して贈呈することとなり既に工を竣へ頃日知人の牧師宣敎師等を招待の上淨宴を開きたるが右贈呈の動機並に經過に就き藤原俊雄氏は語る『傳道の外多年我國事に努めて功績頗る顯著なるハリス博士は昨年七十二歲の老齡を迎へ規約に依つて當然

△監督の職　を退かれねばならなくなられたのでバルチモアに於ける公式決議の總會へ出席の爲め歸米されることとなり送別の晩餐會には一日保險協會で催された席上島田三郎氏は『老博士にして再び來朝し晩年を我日本に樂まんとせらるゝならば適當の地をトして以て飾り付けの濟んだ住宅を贈呈しよう』と一條の決議文を朗讀された所滿場の拍手と喝采裡に忽ち列席各士の贊同を得たのである是れが乃ち

△今回の擧　あらしめた動機で發起人は主として同送別會に列席の諸氏に醵金を希望すると總手紙一本にて寺内首相本野外相等より續々と醵金あり夫れが遂に合計一萬三千五百餘圓に達するの好成績を收めた是れも老博士が隱德の致す所で博士も滿足すれば發起人等も愉快を覺えたのであつた』

雲母拂底

輸出禁止で工業界の大打擊

歐洲戰亂の結果各國とも軍需品や食糧品等の輸出禁止をするので各方面に大影響を及ぼして居るが電氣業者なども雲母輸入の杜絕で殆んど困り拔いて居る元來雲母は電氣事業に非常に重要なもので

◆絶縁材料　には無くてはならぬものである、處が雲母の生産地と聞ふのは世界中に唯印度一國あるのみで、支那からも幾分か出るが問題にならず、日本でも四國の一部から出るが、之も質粗惡で到底使用に堪へない、所で勘て印度の供給を受けて居るのであるが印度では戰亂勃發以來

◆英國政府　の命に依り、絕對に海外へ輸出を禁止したので是が爲め或る時は遞信省の手に依り電氣業者界に大恐慌を來し、是或は陸海軍に陳情し、種々の方法に依つて英國政府に賴み分與を乞ふやう交涉し、漸くにして他の名目の下に極めて少量宛數回に亙つて輸入するやうになつた、夫れも

◆印度直接　ではなく、一旦は英國に往き、更に英國から日本へ轉送するので、最近に漸く七萬千封度の輸入が出來るやうになつた、之で目下の處は幾分安心が出來るやうなもの〻、輸出の解禁になるのは何時の事やら分らず。價格も五六倍に暴騰して居るので

◆中々贅澤　に使用することも出來ず、今では金銀よりも貴い位になつてゐる所で昨今電氣界では何か之が代用品として適當なものを拵へなければならぬと、遞信省の電氣試驗所では利根川博士が主となつて熱心に其研究に從事してゐる

鐵道院の要路を恐喝す

▼杉田定一氏の實弟

貴族院議員杉田定一氏の實弟大阪西區四條通四丁目小林兼信は博多驛長、鐵道院松本理事、阪本大阪驛長、野村西管局長外八名に對し恐喝未遂文書僞造行使恐喝犯等を犯せる雖物なるが右被告事件の公判は四月二日大阪地方裁判所にて開廷の筈なり（大阪特電）

丹後の大火

六十戸燒失

二十三日午後一時京都府丹後國加佐郡河守町に出火あり延燒六十戸の多數烏有に歸したり（大阪特電）

海中で豺を殪す

慶北盈德警察署管内柄谷面巡査駐在所附近に近時ヌクテ出沒するより駐在所にては洞民を獎勵し要所に民を裝置せしめ置き十七日午前十一時頃洞民と共に罠を巡視せる際一個の罠に確かに豺の懸りし形跡ありて血痕附著せるより其れをたどりて約六町餘進みしに大なる一頭のヌクテを發見せしかば直に是を追跡したるにヌクテは海岸に逃げ出し遂に海中に飛び込みたるを折柄居合せし鮮人漁船の漁夫が艫を以て打殪したるが右は年齡五歲位ゐにて目方八貫餘ありしと

ハルサメ

◆神宮　奉齋會伊勢山田大本部にて神宮大麻暦の頒布を取扱ひ來りしも副部長の事件ありて紛はしき爲め爾今山田大本部を廢止したり

◆國技　館五月場所は十日初日と決せる所既報の如く同館再築の起工は四月一日の豫定なりしも總體片附に手間取り同五日に延期す

◆天然　痘東京に流行し其患者中五六日前種痘を受け著わり右に就き○○博士は說明して曰く種痘は植えたる翌日より直に其の效力を生ずるものに非ず一定の準備期間即ち一週間乃至一月の潛伏期を經過せざれば效を奏せず

◆信州　小縣より東京見物に行きし天然痘に罹りて歸りしは六十五歲の谷口某といふ老人にて自宅に於いて療養せし事ありしは物騷〳〵

◆露國　女大臣コロンタインは總司令官ダイレンコ少尉と結婚せりと女の大臣や少尉の司令官など迚も露國ならでは見られぬ事

◆山口　縣へ送りし小額出納代理は大藏大臣の捺印なきものを裝つて送りたれば目下回收中なりと使用者は能く〳〵注意すべし

◆全南　濟州月汀里權金石（二二）は批杷を盜みたる者を捜査中なりしに本年學校操行共に優等にて卒業せりと

◆鳥致　院米商横山升作（四七）は去る二月中自宅にて强盜に殺害され犯人捜査中なるが犯人の所在密告者へ遺族より五百圓賞呈すと

娼妓の金で遊興

京城の曲者

蛤洞鞕命喜（二八）は前科三犯の曲者にて三月九日夜新町遊廓大壽樓支店に登樓娼妓玉勇事趙處女を敵娼として遊興し其の歸途隣室なる春香事金桂蘭所有の周衣と預高二十八圓の貯金通帳を竊取し僞造したる拂戾證にて郵便所より全部引出し之れを以て外數軒にて遊興したることを發覺し本町署に逮捕さる

曲者　と思ひしは知合の紳士

◇留守居の細君を絡んで◇

◇で春の宵の喜劇一幕◇

二十三日前の夜午後十時頃京城吉野町居住の某紳士宅で一場の喜劇があつた、主人は

回宴會　の爲め歸宅が何時もより遲かつた其の留守中怪しの男が訪問して美しいそこの妻君と何事かヒソ〳〵囁いてゐた、折も折りで恰度其の場に歸り合はした主人、チラリと男の姿を見たなりで胸に一物、容易にわが家の扉に手を掛けず

回門口　を彷徨して靜かに中の樣子を窺つてゐたが訪問の男は容易に立ち歸らない、薄暗がりの門口を徘徊してゐた主人は時節柄家の人から擧動不審の者と認められ誰何されて實は斯々の次第と申開きの一條、聞いた隣家の主人も其れは怪しからぬ奴だ妻君一人の留守宅を夜遲く訪問して長居をする曲者の正體ヨシ見屆けてやらうとガラリ戶を開くれば怪しの男と思ひしは其家の

回主人　とは又無き昵懇の某會社員、緊急な要談で來訪したものと知れ、四人は顏見合はせてドツト大笑ひ春の夜の喜劇一幕先づ其の壞は目出度をさまり……

文書僞造發覺

忠南道舒川郡馬山面新上里居住京岡某と云ふは數年前同地に移住し諸所に商利を貸付け僅か三四年の間に少なからざる蓄財をなしたるが此程のこと同地商某と云ふに對し四百圓を貸付け居たる處前記商は他にも債務を有しゐたる爲め突然他の債權者より財產の差押を受けたる結果全部の債權者に配當をなす事となりたるに前記京岡は自己の債權に對し成る可く多額の配當を受けんとして大膽にも六百圓の證書を僞造行使せしこと同地警察の探知する處となり文書僞造詐欺事件として一件書類と共に江景支廳に送付され審理の結果此程公判に附せられ懲役三箇月の言渡しを受けたるが被告京岡は之に服せず控訴せり

春の子供服

—お孃さんの服—　—坊ちゃんの服—

◇洋服は輕快で可愛らしい◇

これから用ゐられます春の輕快な子供洋服に就ても、各家庭それ〴〵のお好みがあつて、型がいろ〳〵になりますが、先づ本年の新しい型は、やうやく步き初めの位から四歲位までのお孃さま向きとしては、襟なしの著流しで

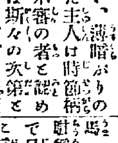
◆兩方の胸　のところにスモークの取つてあるのなどが可愛らしう御座いますお値段は七圓から十圓位ゐまで次に五歲から八歲位までのお孃さん向きとしては白いカラから下の胸の打ち合せを菱形に取つて角紐釦を三つか四つ附けたもので値段は八圓四十錢から十四圓位まで、また八歲から十三歲位までの學校へ上つてゐる年頃のお孃さん向きとしては胸から裾へかけて『三本襞』を取つたものがよろしく、これは

◆襟の返り　が肩から垂れてゐて後は今までのセーラ形のやうに角でなく丸形になつてゐます、總じて寒いうちの襟は共切などしたが是れからのはカラもカフスも白く、そして取り外して洗濯が出來るやうなのが喜ばれます、またお孃さんの服は西洋では胸元を開けてゐますが日本では胸當をするのが通例となつてゐます、布地はセルカシミヤ、綿サージ、薄絨紗などで色は蝦、赤、紺、茶、淡紅、縞物では

◆靑磁に鼠　の格子縞、黑に蝦茶の格子などが多く出ます、次に坊ちゃんの服は漸く步く位から四歲位まではズボンなしの水兵型が一般に受けてゐます、これは紺サージで淺黃などのカラ、カフスをつけたのが愛らしく値は八圓から十二圓位まで、また五歲から八歲位までは普通の水兵服がよろしい、この水兵型は坊ちやん達に一番召しよいので古くからある型ですけれども廢りません値段は十圓から十五圓位、その上になつて學校へ上るやうになりますと

◆坊ちゃん　方は制服を著ますが日曜や祭日の外出に著ますには船長さんの著る著物のやうな型のがお似合ひで、これが今の流行で御座います、これは襟が大人の脊廣の折襟に似て、それよりも、もつと大きくポイントが上つて派出に返つてゐます、近頃は電車の中などで大人を小さくしたやうな子供服や外套や帽子を召した子供を見ますがこれもワイシャツの胸元に

◆蝦色など　のネクタイが結び付いてゐて胸元だけは一寸大人のやうに見ゑます、これは外套なしで著るので十歲位から十六七歲まで著られますが値段は十三圓から二十圓位まで男の服の布地は紺サージが多くホームスパンもあり、贅なのは駱駝の綾絨紗もあります。



露獨戰線では露兵が獨軍に軍器を賣渡して居る其相場が大砲十圓、機關銃三圓、馬一頭五圓と定つてゐるとは平塚駐露大使館員の話だが▲道理で安値で日本から送つた大砲も獨軍の手に這入て西部戰線にでも使用されるだらうから春秋の筆法で行くと『日本聯合軍を砲擊す』と云ふ事になるかも知れぬ▲每年三月下旬は卒業季節で方々で卒業式が擧げられるそして告辭訓辭が朗々と讀み上げられるが最後の署名の處になると誰でも一段聲を落してあまり目立たないイヤ耳立たない樣に讀んで了ふ▲處が長谷川總督は署名とも明瞭に讀み上げ殊に長谷川の道の好道に力が這入るさうだ▲それから久保滿鐵京管局長になると定つて演說で然も長いので有名だ然し熱のある事は非常なもので兎角形式に流れ易い式と云ふものであれ位親切に生徒に諭へる人は稀らしいといふ人があつた▲今度高等法院に榮轉した橫田判事は韓國最初からの司法官だが▲赴任する匆々から朝鮮語の稽古に沒頭した程の熱心家で現在朝鮮通司法官中の一人ださうな▲判事駄句つて曰く『春風に假寢寒し古狸』

▲若千代を聽く

二十三日の晩浪花館に開演中の娘義太夫竹本若千代を聽く伊勢音頭の油屋を語つた廣告の淨瑠璃は說經祭文であるらしいがソレにしても如何にも小さくさげ〳〵し過ぎて居て然かも纏まつてゐない、その上に力が足りない、遊びがないさコウ一々數へ上げる氣の毒な程いゝところがないがこれらの缺點は何れもあの纖細な體質から來てゐるらしく見ゆる、タノ代り三味線は彈語りの時さひ若千代の糸に廻つた時も甘い折々隨處なところを見せたのを買つておく▲若千代は日吉の三を語つた聲は大していゝさはいへぬが裝物もよし節廻しも可なり巧みなので餘程聽き應へがあつた一座は多く若手なので入場料が割に安いので下聞し桟敷も一杯の入で一杯開こし已た觀客が々喝采を發するのがお殘臨だつた

▲大正館　新劇盛の爪路錄、[illegible]

▲黃金館　日蓮上人一代記、新劇死の前にて連日大入を續け居れり

▲浪花館　竹本若千代一座の娘義太夫三日目の語り物は左の如し

▲[illegible]四段目(四八)▲平太郎住家(光三)▲[illegible]三段目(昭八)▲明烏山名屋(源吉)▲忠臣藏六ツ目(龍光)▲宗五郎子別(萬治)▲太十尼ケ崎の段(若千代)

京日案內

普通一回五十錢　番外一回一圓

▲▲▲[illegible]

◉配達人至急募集　希望者は本人來談あれ但し市内確實なる保證人を要す　明治町二町田新聞部　536

◉看護婦及見習看護婦至急採用　希望者は直接來談ありたし　京城旭町一　爲崎病院　電二七三六　530

◉電話讓受　お讓り下さい好い番號を至急御申越下さい　旭町一ノ六　四電二〇〇一　佐藤　5 5

◉店員　十五六歲尋常高等卒業程度の者直接來談あれ　鐵貨卸商　京城長谷川町　鬼頭支店

◉退貨金返たし　三月廿二日夜十一時前五町御買求方居所知度　本町　津村兄弟商會支店　電話一八七〇番

◉融通　秘密の御方へ極秘迅速　立替御報伺上候　◉京城　大和町三の三二(納屋前)　起木屋

◉代診　藥局生　看護婦　至急募集　希望者本人來談ありたし　仁川宮町　松本病院　554

古服高價買入　御報參上　黃金町二丁目　電取次二二三〇　木村洋服店　482

▲金融　官吏教師へ極秘貸出　御報伺上候又御來談　京城本町五丁目電車終點北　大和屋質店

番外　土木技手及工夫募集　土木工事實地に經驗ある技手及工夫數名入用希望者は至急來談　黃金町一丁目　不二興業株式會社　570

有給外務員入用　希望者履歷書携帶來談あれ　黃金町二　京城新聞社　569

夕顏　白花紅花紫花の三種一組二拾錢　朝顏優等十種五拾錢にて送る　廣島市　百草園　振替廣島貳七〇番　538

看護婦見習入用　希望者本人來談但市内に保證人を要す　京城本町壹丁目　石川醫院　567

店員及集金人入用　年齡廿歲より卅歲迄但要保證人　蓬萊町三丁目　電話二〇七九　酒見店　557

朝鮮受驗講義錄　諸官廳[illegible]　全部七冊壹圓九十錢送料拾二錢　京城旭町二　振替一一九一　朝鮮文學會　562

看護婦及同見習募集　志望者履歷書携帶來談ありたし　仁川　仁川病院　555

恩給年金　月利一二五　五年迄　即時立換　手數[illegible]　安三年迄保險不要　京城南大門外（舊）御成町　山口屋　電話二六八八番　324

議政府　楊州抱川永平行荷物　積合牛馬車毎日差立　田舍行專門運送業　電話二二九〇一　京城　㊁運送組

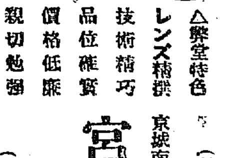
店員入用　十三歲から十七歲迄三名要保證人　京城本町一丁目　電話壹八七二番　メリヤス洋雜貨商　㋑鈴木支店

藥學生募集　出願期日三月中　規則書は左の藥店　四月五日學期開始す　新井山岸北島宮本梅村　世藥舖和平堂　朝鮮藥學講習所　553

社員採用　內勤外勤數名　廿二才より四十五才迄　希望者は自筆履歷書携帶午後六時迄に來社あれ　黃金町二丁目　太平生命保險支部

產婆開業（元濱崎助手）　京城櫻井町二丁目二二〇　電話一五〇五　遠山ミチヨ　509

眼鏡專門



△弊堂特色　レンズ精撰　技術精巧　品位確實　價格低廉　親切勉强

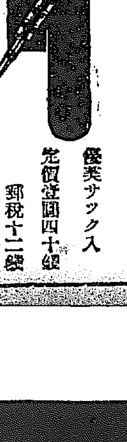
（詳細定價表發行す）

京城南大門通二丁目二二番地　宮川大學堂　電話二九五九番　振替京城壹貳九番

（眼鏡製造工場子弟入用）

時候の變り目と家庭必備の檢溫器

商標 PINE　代表的模範檢溫器



優美サックス入　定價壹圓四十錢　郵稅十二錢

朝鮮總督府醫院檢定證附

▲熱！熱!!熱!!!▼

此の問題は始めてパイン檢溫器の權威と確實により解決する事を得べし

パイン檢溫器發賣元　京城太平通一丁目　電話長三六六〇　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

京城電氣會社製　特約販賣

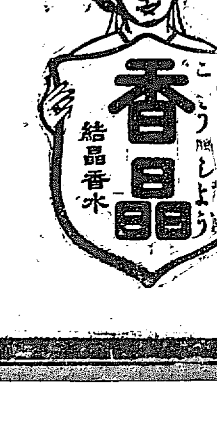
コールタール

龍山漢江通り八　電話四九番　金物商　島田忠作商店

甚だしくよい匂ひ　花の樣なよい匂ひ

帶の間や腰の廻りに下げて御婦人の品格を上げる

香晶



登錄商標　香晶（こうしよう）　結晶香水

發賣元　大阪　東京　藤澤樟腦本舖

各地小間物、化粧品店、藥店、雜貨店にあり

資本金參百萬圓　明治三十八年設立

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通四丁目五番地　株式會社　漢城銀行

長　男爵　李允用　專務取締役　韓相龍　支配人　張弘植

電話　二六四六番　二一三九番　[illegible]一八六三番　振替京城二〇五番

支店所在地　水原、平壤、大田、開城、南大門

出張所所在地　鍾路、東幕

（右端欄外）[illegible]畔の祝賀會なりき▲地主會議　忠南道に土地を有する鮮人地主の重なるものは多く京城に在住するを以[illegible]　忠南道牙山、天安、禮山の三郡には是迄畜產組合の設立なかりしを以て大正七年度より畜產組合設置[illegible]に流失したるを以て今回工費約五千圓を投じ鐵筋コンクリートにて新設架橋中なるが年度末には全部[illegible]

◉[illegible]水力電氣　昨年三菱の手に歸したる茂山鐵鑛は同水力電氣の餘力を採る設計[illegible]に確立せる由是れによりて見る時は今後電燈の動力を火力に仰がんは益々本年經營の基礎を固き是れ[illegible]

◉傭船補償額決定　保險問題も內定　既報對米提供船舶の傭船料に關しては米國側の要請價格にして聯合に就きては[illegible]金額は五百數十圓と決定する[illegible]を與ふるの交換的內約の下に無補償提供に決すべし次に船舶保險金は其噸數等に準じて其々一噸當り保險金額を定めらるべし（東京）

[illegible]四六時▲方位　東北東▲警報區域　咸鏡北道及び南道北部甲山、三水、長津、豐山、成川、南川、咸興、利原、[illegible]

櫻御殿

第百八十二回　大阪　霞の家主人

座敷牢（二十）

『わしは戴きません、一粒の御飯も戴きません、消之丞が隅櫓の一間へ閉ぢ籠められて、饑に泣いて居るかと思ひますと、氣樂らしう御馳走を戴く心にはなりません』

銀杏は斯う云つて目を拭つた、道齋の心盡しから成る山海の珍味が處狹きまで座に併べられる

『然し、お母さま、あなたの召し與られ御馳走がすぐ、消之丞殿の前へ運ばれる理はございません、消之丞殿は消之丞殿、あなたはあなたで神樣のお惠みが違つて居ります、何もございませんが、一つだけ召し喫つて下さいまし、それで無いと、切角お伴れ申した甲斐がございません』

道齋は東道主人を發揮して云つた

『いゝえ、わたしは、消之丞と同じ樣に餓死を致します、消之丞に先立たれて、何處に活きる瀬がございませう、戴いたも同樣、決してお勸め下さいますな』

銀杏は死を覺悟して云つた、消之丞が隅櫓の一間で饑に泣いて居る事を思ふと、一粒の飯を食ふ氣にも爲れなかつた

『お母さま』と道齋は大聲で呼んで『御安心遊ばしませ、これと同じお下物が消之丞樣のお前へもあげてござります』

『え、消之丞の……？』と愈しさうに云つたが、その後をすぐ涙にして『それほどにして、わたくしにお下物を運ばれようといふ思召しは有難く受けますが、何うして消之丞の前へ御飯を運ぶことが爲きませう、それは僞言でございます』

『僞言は申し上げません、皆な眞實でございます』

『でも、あなた、隅櫓の外には、御番の衆が澤山お詰き遊ばして在らツしやるぢやございませんか』

御番の衆も人間でございます、萬事は虎や狼ぢやござりません、御懸念わたしが心得て居ります、御懸念なくお召し上り遊ばして下さいまし』

『どの樣に仰せ下されても、あなたのお詞を眞實と承はる理には參りません、これほど神佛に捨てられて、只一人生き殘る心はございませんゆゑ、消之丞が餓ゑ死にを致すまでには、わたくしも骨と皮とになつて死ぬる覺悟を極めて一粒の御飯も戴きません、現世から餓鬼道に落ちましたら、來世は淨土へ救はれるかと思ひますのも、やはり母の慾目でございませう』

銀杏は一言云ふごとに、この語尾を涙にした、道齋は考ねて

『それでは宜しい、それでは消之丞殿から證據の品を得て參りませう、別に御馳走を持參するのも何うあらうかと思ひますゆゑ、お母樣のお膳につけてさし上げたるを少しづゝお分け下さいまし、さうしたらお母樣からの道はされと申して、手づから進上して參ります』

『道齋どの、眞實でございますか』

銀杏はやつと乘つて來た

『眞實でなうて何う致しませう、お待ちなさいまし、後刻證據をお目に掛けます』と云つてぽん〳〵と手を叩いて『誰ぞ、小さい辨當箱を持つて參れ』

召使の少女は蒔繪した小重箱を持つて來た

『それではあなたのお膳部を半分お入れ下さいまし、そのまゝ消之丞殿へお手渡しを致します』

『有難うござります〳〵』

銀杏は慇懃も禮を云ひつゝ、膳部の下物を少しづゝ重箱の中へ入れた、その下物の一つ宛に母の涙の露が添ふ

京城本町　千代田號印舖　電話八九七番／電話八九八七番

象頭山まで

靜軒

彼岸の中日を虎耳と二人で象頭山まで行つた。漢江通りの柳は黃色に烟つて、橋の行つまりには胴突きの聲が眠さうに聞えた。汚金樓の處を左に折れて象頭山に登つた。潮紺につゝまれたやうな遠山が遠く見ゆる。漢江はゆるく流れて楊柳の村が唐繪のやうだ。靜軒が自動御神籤に一錢銅貨を投げ込んだら第三十一番吉が出て寶買大ひに利ありとあつた。虎耳は面白さうに大分商人氣になつたなど云つて居た。そして例の俳諧堂建立のことなどを話して居た。麗かな日を浴びながらかうした他愛もないことに興じて遊んだ。

○
山霞み指呼の柳青みたり　虎耳
○
陽炎へ山根すれ〳〵船行けり　同人
○
江は山に沿うて人は沙上を春の風　靜軒
○
江盡くる處連山うすく霞みけり　同人

春燈吟

（其の十一）——大正七、三、一九——

春雷

葬出ゝとして俥上の僧や春の雷　北星
春雷やシャツ白く著し畑人　同
出船間なし春雷後の浪高まれど　田打夫
並ぶ下駄の一つ踏み反ねし春の雷　同
一灯に響くともなし春の雷　春樹
春雷の霰こぼして晴れけり　水子
工場出し群れ一と渡舟初雷す　橙黃子

種物

袋繪の色既なし花の種　田打夫
種物屋に城外の埃日々に吹かる　北星
物種の數ある中に坐りけり　笛木
太柱種子吊るのみに古りにけり　水子
種袋風吹いて之を飛ばしけり　橙黃子

京城明治町二丁目　入院隨意　胃腸病院　電話一六五九番　院主　佐々木杏造

◉子規記念畫帖頒會　東京麹町區元園町中央出版協會にて目下開催中の『子規居士十五週忌記念畫帖頒會』は空前の盛況にて既に二千餘名の入會者あれば規定通り本月末日を以て締切る由なるが同記念畫帖の内容は六大家の肉筆を始め子規、不折兩先生の光筆畫など趣味豐富なる傑作のみ也之迄斯事業が如何に低廉の會費にて會員に頒つなれど若し一々に需むれば非常に高價なるものならんか

新刊紹介（到着順）

▲奉天商業會議所月報（三月號）　奉天商業會議所
▲海友（三月號）　十五錢　大連市寺内通大連海務協會
▲禪機（三月號）　十七錢　東京・橋區駒町　其社
▲美術世界（創刊號）　二十錢　東京牛込區早稻田美術世界社
▲勝友（三月號）　京城本町三丁目菲士宗青年會本部
▲農業新報（農業經濟號）　五十錢　東京日本橋區箔屋町十四　其社

詰者の領分

▲小華逸人といふ諧家はどんな人ですか教へて下さい小生同人の花鳥の軸を持つて居りますが判らないので困まつて居ります（田舍者）

▲三月廿日午後三時頃新町裏手の崗陰にて二人連れの筑前琵琶樣は何處の誰何樣でありつゝろや是非一度御目に懸りたい御處を新聞にて御知らせ被下れば何より（眞面目に聞いた生）

▲京城は何と云つても金貸が有利な樣だ高利貸質屋銀行業者等の金利が殆んど日本内地の倍額に近いのは是れ朝鮮の振はざる最大原因の一なり近來喧しく云ふ市塲問題は枝葉問題だ野菜抔門外迄賈出しに行けば半額の直段で買へる（千里眼）

▲先日よりの憤怒生君とエス君との議論（？）拜聞す。併し幾ら春の日永とは云へ現時の如き時を尊重すべき時に於て兩君の如き馬鹿げた議論は止し給へ。兩君は所謂桶の半面を見る者なり、今少しく眼孔を大にして京城の現下の狀態を見よ。朝湯結好、併し此れも時と塲合による。今の京城の如く水の缺乏せる部會に於ては余は寧ろ憤怒生君に贊成せんか、敢て一言を呈す（東京より芋嫌ひ生）

天覽台題　蘇峰文選　特價二円　十五日限り　定價三圓五十錢　郵税二十四錢　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

京染　京都永楽町二丁目　たまや出張店　電話一二九六　呉服

パイン萬年筆　電話一番

今回朝鮮總督府の御買上を蒙りたる　自轉車用　提灯挿　定價卅八錢　送料金二錢
取締規則に適應し提灯携帯を容易ならしむべく新案特許を得たる圖の如く體形優美の金屬製なり
京城太平通（電話三八〇番）　發賣元　京日代理部　振替京城三〇〇番
▲市内は電話にて申越次第御屆申可候

▲廣告▼

最新刊

書名	著者	定價
德川慶喜公傳	澁澤榮一	一〇、〇〇
向陵より社會へ	畔柳都太郎	一、〇〇
千圓以下で出來る理想の住宅	保田賢三	一、五〇
政界の表裏	無名隱士	一、六〇
戰後の教育	國民新聞社	四五
革命の巷より	クロパトキン	一、三〇
獨乙の經濟的膨脹	小川郷太郎	一、五〇
獨逸の肉彈	獨乙大尉ヘツケル	一、〇〇
著者の面前で判かれた汎獨政策の圖	シェラダム	一、六〇
肉彈（縮刷）	櫻井大尉	七〇
西洋見物姬の旅行	末廣鐵腸居士	九〇
小生の手紙	大町桂月	一、三〇
會社商店に必要なる商法釋義	松波仁一郎	九五
潜航艇圖說	西田當太	六五
最新實驗化學	柏木一三	一、五〇
經濟哲學の諸問題	左右田	二、五〇
カチ〳〵山と花咲爺	武者小路實篤	一、三〇
テニスの手引	多梅稚	四〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目　電話三八〇・振替京城三三七

勸業債券割賦販賣
公債債券現物賣買
有價證券擔保貸附
荷附爲替引受金融
恩給年金長期低利立替
京城若草町百六番地　西村商會
電話三千十一番　振替京城六五九番
◉地方顧客の御便宜を計り代理部の設置あり京城に於ける御用辨は迅速取扱ひ可申候也

星印ソース
今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる
本品は其品質と賣行に於てソース界の明星なり
全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元　大阪市　祭原伊太郎

胃腸強健法十二則

其一　食事は三椀を三十分位に食べる程に能く咀嚼すれば消化が圓滿にゆく。

其二　朝食七時、晝食十二時半、夕食六時半位に定め置くが宜しい。一回の食事を消化するに約五時間を要するからである。

其三　可成家計の節約も必要であるが、自分の趣味や嗜好に應じて食品を選むことも必要である。

其四　食事は愉快に談笑の間に爲る可きものである。他事を勞へたり、讀書しつゝなすは宜しくない。

其五　可成胃腸に良い習慣を造る樣にす可きである。朝餐は成るべく淡白な食品を攝り、魚肉や獸肉等は晩餐の際に用ふるが宜しい。

其六　職業により食量は一概に云へないが、食慾の進む時は充分攝るが宜しい。併し虛弱の人は腹八分にも五分にも控へ目に攝食しなければならぬ。

其七　食後の睡眠は人々の習慣ご年齡とに依つて違ふが、普通食後三時間位は適度である。

其八　入浴も食後三時間位經過した方が宜しい。少なくとも食後一時間又は一時間半位休憩した方がよい。

其九　食物の溫度も消化の進歩に影響があるから過熱酷冷の飲食物をさけ、体の溫度を標準として攝取するが適當である。

其十　煙草と胃消化とは太なる關係があつて、少量ならば消化を進捗させるが、空腹時に於ける喫煙は良くないから、食事後直ぐに用ふべきである。飲酒も同樣な關係がある。

其十一　睡眠不足は翌日に至つて胃腸の消化を障碍を起し易い十分に眠睡して胃腸の休憩を十分ならしむる必要がある殊に營養不良の人に於て一層睡眠を要する。

其十二　毎日正規の排便を爲すに力めねばならぬ。若し便秘の傾きがあれば緩和の下劑を用ゐ又は灌腸する必要がある。

斯の如きは是皆胃腸の障害！

□曖氣または嘔吐を催す。
□胸灼けを感じ、胸部が刺さるゝ如く痛む。
□食慾減じ、食物の美味の感じを失ふ。
□胸むかつき、頭痛眩暈を覺ゆる。
□顏面浮腫て意識不明瞭になる。
□胸痞えて酸味ある嘔吐を覺ゆ。
□舌が白く變色し、又は唾液の分泌が多量くなる。
□腹部に膨滿を覺え、便秘を起す。
□官覺鈍りて頭腦朦々とする。
□下腹部に疼痛を感じ、腹鳴を起す。
□舌の下面部黃色くなり、頻りに渇を覺ゆる。
□腹部に壓迫を覺え呼吸困難となる。
□顏色蒼白くなる。
□腹部に瓦斯が溜滯りて屢々放屁を爲す。

胃　弱い　腸　弱い

以上の如き胃腸病の徵候に對してホシ胃腸薬は最も的確なる効能を顯し之を原因的に治癒せしむ。

ホシ胃腸薬

定價　金二十錢　金五十錢　金一圓

東京京橋區南傳馬町　星製薬株式會社

京城龍山等各地に僞物有御注意

百圓　りん病　ばい毒
帝國醫科大學院
大阪有田　にせ物
京城南大門外　ドラッグ商會

高　多　賞

間自動車著發時刻

下り　一番車　二番車　上り　一番車　二番車

金泉發／玉山發／成歡發／龍宮發／醴泉發／榮州著
榮州發／醴泉發／龍宮發／成歡發／玉山發／金泉著

▲小荷物取扱仕候

織居自動車部　金泉支部　金泉電話四八番

寫眞製版部

寫眞銅版、亞鉛版、凸版出張撮影
最も熟練せる技術を以て敏捷に迅速に御需めに應じ申候

京城日報社　寫眞製版部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
神代丸　三月　日　後四時出
秀吉丸　三月　日　後四時出
君代丸　三月卅一日　後四時出
大有丸　三月　日　後四時出
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行、天津行
相模丸　三月二十　日
三河丸　三月　日　正午出
高砂丸　三月卅一日
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行（關東都督府命令航路）
共同丸　三月廿三日　午後入港　三月廿四日　午後時出
朝鮮總督府指定及大連主要港にて荷客連絡並に取扱申候
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
仁川代理店　山口回漕部
元山代理店　南大門（電話二七六〇八二）　河村運送店
京城取次店

釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行
和歌浦丸　月　日　後五時出
立神丸　月　日　後五時出
元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸　月　日　後十時出
立神丸　月　日　後四時出
佐須奈、巖原、壹岐、博多行
大興丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、清津行
第三平九　三月　日　後六時出
門司、宇品、神戶、大阪行
第三平丸　三月卅一日　後六時出
釜山港地立新町　取扱店　大池回漕部

大阪商船株式會社汽船出帆廣告

仁川出帆

神戶大阪行（群山寄港）
須磨丸　三月廿五日　後五時出
日淸丸　三月　日　後五時出
福州丸　三月　日　後五時出
×安東丸　三月二十二日　正午出帆
木浦、釜山、巖原、鄕ノ浦、長崎行
×鎭南浦、神戶大阪行
安東丸　三月　日　正午出帆
須磨丸　三月廿四日　後二時出
西湖津、城津、新浦、清津行
元山出帆
宮島丸　三月二十八日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
安平丸　三月廿七日　後九時
大連出帆
上海、基隆、打狗行
湖北丸　四月十三日　前六時出
基隆丸　四月十六日　後四時出
内地各港出帆主要航路
南米行　毎月一回
北米行　毎月一回
濠洲行　毎月二回
南洋行　毎月一回

御注意
乘船切符は出帆時刻の一時間前迄に御求め下さい
仁川京城通り　切符發賣所　大阪商船株式會社仁川支店

朝鮮郵船出帆

本社　電話

○關門より釜山各地經由雄基行
但し×印あるは江原道寄港せず
第二商運丸　月　日
成鏡丸　月　日
京畿丸　月　日
忠淸丸　月　日　釜山發
○元山より北鮮各地經由雄基行
穩城丸　月　日
鏡城丸　月　日
京畿丸　月　日
忠淸丸　月　日
高運丸　月　日　元山發
○大阪行（釜山門司經由）
平壤丸　月　日　釜山發
○元山ヨリ釜山關門行
第二高運丸　月　日
京畿丸　月　日　元山發
○元山ヨリ江原道寄港釜山關門行
成鏡丸　月　日
忠淸丸　月　日　元山發
○鬱陵島行　浦項及各地經由
盈德丸　月　日　釜山發
○浦項行
江陵丸　毎日
襄陽丸　毎日　釜山發
○濟州島行
昌平丸　月　日　釜山發
○濟州島行
公州丸　月　日
慶興丸　月　日　木浦發
○釜山、麗水間
海州丸
統營丸
巨濟丸　毎日　釜山發
○木浦麗水間
順天丸
南陽丸　木浦發
○木浦ヨリ多島海各地行
慶興丸　月　日　木浦發
○仁川木浦行
晋州丸　月　日
金海丸　月　日　仁川發
○海州行
全州丸
南陽丸
三十一日ハ休航
其他結氷ノ爲メ休航ノ事アリ　仁川發
○鎭南浦行
江原丸　月　日　仁川發
○清津行（大阪神戶門司より）
平壤丸　月　日　釜山發　元山發

仁川港代理店　堀回漕部
木浦港代理店　山野回漕部
元山港海岸通　元山出張所
釜山港佐藤町　釜山支店
京城南大門通　松原運送店

外米の買付額……百萬石の買付……船腹の調達難